汽車時間表（七月十日改正）

[illegible]

京城日報

廿七日夕刊

定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible]
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目 發行所 合資會社 京城日報社 電話 [illegible]

○日露附帶案件交渉結了

日露協約の附帶案件たる東淸鐵道南線讓渡松花江航行權問題及び日露郵便協定等に關する兩國政府間の交渉結了せるを以て近く發表せらるべしと傳ふ（東京電報）

○露國藏券發行交渉成立

兩三日中に發表＝其の内容條件

一度中絶したる露國大藏省證券發行の件は過般露國政府より新ために該證券發行の申出あり彼我の間に兩三回の交渉を重ねたる末大體の意思既に合致したるを以て兩三日中に其成立の發表を見るに至るべし其の内容は堅く秘密に附せられつゝあるも聞く所に據れば總額五千萬圓一箇年期限なる點は略確定し利子の年六分又は六分五厘の孰れに決するやは猶未定なるも若し六分に決する場合は手數料は一分五厘となるべく又利子六分五厘に決する場合は手數料一分にして其孰れに決するとも我がシンジケート團の利廻り計算は年七分五厘に相當するものなり而して我日本銀行は該證券に對しては割引融通の便法を與ふることに決定したるものゝ如し（東京特電）

○我財政方針と支那借款

政府は正貨を流用し公債の償還をなすよりも海外に投資する方針なるを以て支那政府の借款交渉に對しては無論應諾する事となるべし（東京電報）

○ドイツチランド號發航

バルチモア來電に曰く獨逸潜航艇ドイツチランド號は獨逸へ向け發航せり（紐育電報）

○土艦露艦と交戰す

土耳其巡洋艦ミデイリ號は露國戰鬪艦一隻驅逐艦五隻と戰を交へたりしが何等の損害をも受けずして歸港せり（紐育電報）

○露軍アルメニアに勝つ

露都來電に曰く、露軍は中部アルメニアなるエルヂンガン要塞を占領せり（紐育電報）

○英國軍事費支出案提出

首相アスキス氏は下院に於て四億五千萬磅の軍事費支出案を提議し其の際英國の軍事費は一日平均四百九十五萬磅にして藏相マッケンナ氏の發表したる平均額六百萬磅とは總ての費用を含み居る旨を説明し本年四月一日より七月二十二日迄の支出總額五億五千九百萬磅在庫總額四千一百萬磅陸海軍々需品類三億七千九百萬磅聯合國及び屬領に貸付額一億五千七百萬磅食料品供給鐵道等の費用二千三百萬磅なりと述べたり（倫敦電報）

○英軍ボチエール占領

倫敦來電の公報に曰く英軍はボチエールを完全に占領せり（紐育電報）

○露券募集擔保

露國大藏證券五千萬圓引受募集に付き日本銀行にては露國政府より之が擔保を提供せしむる事となれり（東京電報）

○首相政務奏上

大隈首相は二十六日午前八時四十分國府津より歸京直に參内し天皇陛下に拜謁仰せ付けられ内外政務に就き奏上の後十時四十分永田町官邸に入り閣議に列し畢て樞密院會議に列席せる河野農相より樞府に於ける工場法修正案可決の旨を聽取し閣議は二時散會せるが首相は散會後午後三時五分東京驛發列車にて再び國府津別莊に赴けり（東京特電）

○三浦將軍兩元帥を訪ふ

三浦觀樹將軍は二十七日小田原に山縣公を訪問せる上宮の下富士屋に寺内總督を訪問せり（東京電報）

○兩元帥訪客

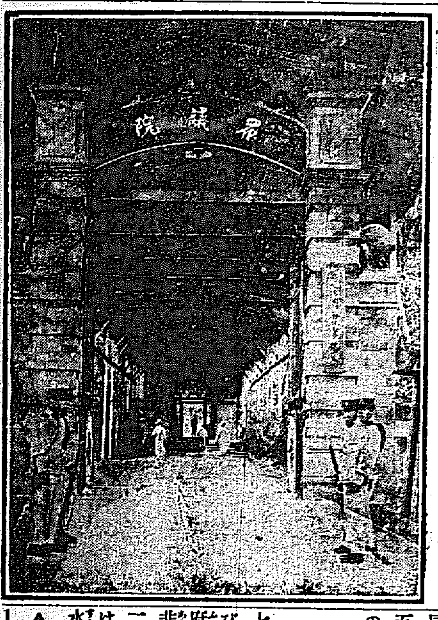
二十六日相州小田原古稀庵に靜養中なる山縣公は樞密顧問官安廣伴一郎氏と終日雜談に耽けり又箱根滯在中の寺内總督は貴族院議員柴田家門氏の訪問を受け人を避け密談數刻に及べり右は時節柄政界の視聽を惹きつゝあり（東京電報）

○田中次長の往來

參謀次長田中義一氏も大隈首相と山縣公との間を往來奔走し居り（東京電報）

○松侯鎌倉歸臥

上京中の松方侯は鎌倉の別莊に歸臥せり（東京電報）



開會の準備成れる北京衆議院

○遞相の甲府行

箕浦遞相は二十八日山梨縣甲府市に赴く事に決せり（東京電報）

○原侍從等歸東

原侍從等宮内官一行十一名は過日來兵庫縣下御上陸地點たる住吉及び行在所豫定地調査中なりしが二十七日午後七時十分下關發列車にて歸東の途に就けり（門司特電）

●聖影奉戴

▲軍司令部より第十九師團管下各部隊へ下賜せられたる聖上皇后宮東宮御三方御眞影並に勅諭奉戴の爲羅南歩兵第七十三聯隊、咸興歩兵第七十四聯隊、會寧工兵第十九大隊、羅南騎兵第二十七聯隊、羅南野砲兵第二十五聯隊にては各將校を派し奉戴の爲め入京二十七日午前十一時第十九師團司令部にて立花師團長より捧授したるが一同二十八日朝龍山出發歸隊の途に上る筈にて龍山歩兵第七十八聯隊よりは護衛として下士以下五名を附する筈なり

▲大邱第四十旅團にては新に下賜せられたる聖上皇后東宮御三方御眞影奉戴の爲め神尾副官入京司令部より捧授し廿六日夜出發歸還せり

●政務總監饗宴

山縣政務總監は高等土地調査委員長の名に於て二十九日午後七時より同委員一同を朝鮮ホテルに招待晩餐會を開くことゝなれり

●府令六件發布

郵便規則中改正の件、僞造變造郵便切手類官設に關する手續の件、郵便爲替規則中改正の件、郵便振替貯金規則中改正の件、集金郵便規則中改正の件は府令第五十八號より六十三號を以て廿八日附發布何も八月一日より實施のことゝなれり

●試驗船建造

經費三萬圓を計上して本年度中に建造の筈なりし總督府水産試驗汽船は時局に伴ふ船舶價格の暴騰に依りて一頓挫を來し、當初の計劃を變更するの止むなきに至りたるが其後總督府にては六十噸木造船となし明細なる仕様書を作成して之れを内地造船業者に指示、見積書を徴したるに當業者は既にそれぐ\回答し來れるより目下其の銓衡考査中なれば不日決定、建造の運びを見る可し

●遲蒔苗代移植

全北慶南各地方に於ける遲蒔苗代は全北を通じ七月五六日迄に播種を終り何れも七月二十三四日迄に移植挿秧を終了せし趣きなるが天候の晴曇雷ならざりしに拘はらず稻苗の成育は各地共豫想外に良好にして本年の秋冷が例年より突飛に速かに來らざる限り五分作は健なるべく存外米收には惡影響なかるべきかとも云ふ尚ほ内鮮を通じ土用三郎乃ち二十二日迄に移植すれば相當收穫ありとの古諺ある由

●辭令

二十六日附を以て左の通り辭令ありたり

兼任朝鮮總督府農林學校教諭 朝鮮總督府勸業模範場技手 岩崎行高

同 中田覺五郎

任朝鮮總督府道慈惠醫院醫官 敍高等官七等（各通）朝鮮總督府道慈惠醫院醫員 三谷盛國

敍高等官八等 坪内孝

任京城公立高等女學校教諭 敍判任官七等 朝鮮總督府道書記 村瀬鍾次郎

依願免本官

●井出部長歸任期

井出駐箚軍經理部長は二十七日夜龍山發經理檢査を爲し八月二日歸任の豫定なり

●柳忠北長官入京

忠淸北道長官柳赫魯氏は二十六日午後二時五十分著列車にて入京し鍾路二丁目の自邸に入れり

●重石禁輸

七月二十九日以降我が政府は重石及び水鉛の輸移出を禁止したり但し政府の特許を受けしものは此の限りに非ずとの電報京城の確實なる某筋へ二十六日著したりとの事に付消息通は曰く政府が何故に突如として重石水鉛の

▲輸移出を禁止したるが今日迄に[illegible]タングステン[illegible]は決して多からず然も朝鮮を主とし近時増加したる吾が重石の産出は相當の數量に上り居る爲め事實上目下帝國領土に於ける供給量は遙に需要量を超過し居れり故に政府が内地の需給關係より此の措置に出でたるものならざる事は推測するに難からず然らば其の原因如何恐らく帝國産重石の米國に輸出せられしものが重石として若くは米國に於て武器となり

▲獨逸國側に供給せらるゝ形跡ある爲め英國より吾が政府に交渉し茲に輸移出禁止を布告せしならん尤も行先の確實なる重石並に水鉛は政府にて輸移出を特許する事となり居るに付之れを絶對的の禁止とは見る可からざれど問題としては決して小ならず蓋し吾が政府よりも既往に於て英國に對し鐵の輸出並に賣澤品の輸入等に付特殊の取扱かひを要求し英政府をして容認せしめし事例あるに付帝國政府も止むを得ず此の施措に出でたるに非ざるか更に朝鮮に於ける重石市價は春來下押し續きにて最近良品噸二千圓を割り居る狀態にて斯界沈衰し居るに今後輸移出を條件附とは云へ禁止されんか

▲相場の前途は益々弱氣に落つべし何となれば目下金融船繰等の關係上朝鮮産重石は殆んど全部内地政府筋へ移出され同所より米國へ仕向けられつゝあり然るに今後の内地輸出を政府にて特許する場合行先き用途等を巨細に調査するやうならば其の取扱ひに任ずる外國商館の如きは自然手控への姿となる事は觀測するに難からず斯くして重石は内地及び朝鮮に堆貨する事となり下落は免れ難き趨勢ならむ

●仁川商議評議員會 仁川商業會議所定時評議員會を廿八日（二十七日を延期）午後一時より開會す可し

平壤

▲明治神宮奉贊會獻金 平安南道に於ける明治神宮奉贊會獻金割當額及び應募額は既報の如くなるが其後居住者の移動により募集額に多少増減を生じたる由なるが最近の調査に依れば割當額八千圓に對し募集民間側に於て一萬二千零五十三圓九十五錢官吏側三百七十三圓二十四圓に確定せり▲蠅の買入高 平壤府に於ては六月十一日より七月廿一日迄買入れたる蠅の總高は六石五斗八升七合にして買上金額百六十五圓八十二錢に達せりと云ふ而して之を一日平均高に計算すれば蠅の數量一斗六升七合にして買上高五圓一錢也

開城

▲教員講習會 私立各學校教員の學力を補充し同時に私立學校教員檢定試驗受驗準備を目的とせる京畿道主催の講習會は二十二日より開城第一普通學校に於て開設中なるが講師は土本第一小川第二の兩普通學校長として講習員は三十六名に近く熱心講習中なり八月二日閉會の筈▲被害視察 開城農園果樹に被害發生し或は恐るべき結果を來すなきかと同園にては頗る憂慮し居りしが過日模範場の向坂技師來開實地調査の結果何等恐るべき者にあらざる事判明せり

清州

▲松蚧蟖根絶 南三年來松蚧蟖發生のため被害甚だしく當局にては極力之が驅除捕獲を指導し各面又は里洞等にて共同捕獲をなさしめたる結果近時漸く被害減少したるが過日來の霖雨のためか忠北各地にては自强菌發生し松蚧蟖は全身白色に變じて死滅したれば茲に漸く該虫の根絶を見るに至るべしと▲有望なる忠北銅鑛 忠北堤川郡浦麻生氏代人田中某の名義にて出願中なりし忠北堤川郡飛鳳面所在銅鑛は今回採掘許下となりたれば目下同地に假事務所を設け盛んに採鑛中なる由にて現在の鑛脈は幅二尺餘にて鑛量豐富なると品質も能く殊に鑛所在地は漢江上流沿岸にて舟楫の便あれば採鑛上甚だ便利にて充分有望なるものなりと▲醫生教養終了 既報の清州郡醫生教養會は去る十八日より一週間巡査補教習所にて開會中の處去る二十五日講習終了に付き試驗を行ひ二十六日午後十時より終業式を擧行せり

木浦

▲府協議會開催 木浦府協議員會は廿六日午後一時より府廳樓上に於て開催大正五年度水道費特別會計追加豫算其他に關し諸問する筈▲商議豫算可決 木浦商議所豫算は廿三日議員總會を開き附議したるが審査委員より調査内容に付き説明あり一二の質問ありたる後滿場一致原案の通可決せり▲木浦檢米皆無 内地正米軟弱と與筋大手筋及び鮮人の先高見越し賣惜みとにより本月に入りて當港廻著米皆無の姿なるが從つて檢米所も至極閑散にして本月に入り僅に二口七百俵の申告ありたるに過ぎず▲金應元氏來木 蘭專門の書家として有名なる金應元氏は二十三日光州より來木三吉野旅館に投じたるが當分滯在すべしと▲森支配人來木 光州農銀支配人森悟一氏は荒木調査係を隨へ二十六日來木海南麗水長興筏橋濟州島に向ひ經濟調査を爲すべし

大邱

▲若木組合規約變更 慶北若木學校組合にては選擧權資格に就て不備なる點ありしを以て組合會議開催の結果其筋に向つて組合規約變更の件認可さる可く申請せり▲大邱基督教會設立認可 豫て設立認可申請中なりし大邱三笠町組合大邱基督教會及び元町メソヂスト教會は十九日附を以て總督府より認可の旨示ごされしたり▲大邱商業會議所は廿六日午後二時より大邱府廳樓上に於て評議員會を開き書記長以下任命其の他事務取扱規定に就き協議せり▲慶北大邱果樹組合評議員會 慶北大邱果樹組合にては二十七日大邱府廳樓上に於いて評議員會を開き、同業組合設立申請却下の件、大邱果樹組合役員選擧の件、ハルビン販路問題の件、京城並に大邱運送店指定の件、警務部長注意の件、内地販路調査報告の件、其他に就き協議する筈▲慶北郡書記異動 慶北榮州郡書記竹下丑太氏は青松郡に、青松郡書記庄司昌氏は榮州郡に各々轉任を命ぜらる

慶山

●現在戸口數 慶北慶山學校組合内現在戸口は百二十五戸五百二十八人にして是を昨年の今日に比するに約一割強の增加を示し移住民の基礎益々鞏固を加へつゝあり▲水害皆無 昨月來の豪雨にて各郡共多大の被害を蒙りしに係らず慶山郡地方は平年旱魃勝なりし爲め本年は例年に比し植林面積増加の現象を呈し農作を豫想されつゝあり▲輕鐵支線問題 朝鮮輕鐵が大邱慶州を敷設せる曉には從來穀物集散地として著名なりし慶山の是が爲め致命傷を受くる譯なれば邑内有志は過般結束して支線敷設の申請をなしたるが萬一願意徹底されたる場合は邑民自動的に手押軌道を敷設し以て素志を貫き慶山の繁榮を圖る方針なりと▲最近市場 農繁期の爲め市場頗る閑散人出少なく金融又緩緩の狀態にあり就中慶山河陽線の橋梁流失せし箇所ある爲め該地方の穀物出廻り皆無の姿なり玄米十一圓四十錢を唱へつゝあり

釜山

▲釜山府債償還 釜山府の特別會計に屬する水道債の内大正六年六月二十五日返濟の筈なる一萬七千圓中一萬圓は其の返濟期日を繰上げ昨二十七日朝鮮銀行に返濟したり▲窪田檢事著任 廿四日著任したる釜山地方法院檢事窪田顯氏は去る廿六日各官公衙を歷訪して新任の挨拶をなしたり

人事消息

▲木村鮮銀理事 二十七日夜南大門驛發東上の途
▲須藤素氏（全南第二部長） 二十六日夜入京天眞樓へ
▲青木兒氏（歷史家） 二十七日朝退京
▲アザソン氏▲ダゴ氏▲クロカー氏（以上米人） 二十六日夜入京朝鮮ホテルへ
▲今野清氏（山林課技師） 二十八日抱川郡へ出張を命ぜらる
▲中村彦氏（總督府技師） 二十六日夜南大門驛著汽車にて内地より歸任
▲御部荒熊氏（實業家） 入京中の處二十六日夜退京
▲佐藤潤象氏（朝鮮輕鐵取締役） 廿六日夜發釜
▲有田寛次郎氏（同經理部長） 同上
▲關丙彌氏（李王職長官） 廿六日李王守殿元山へ
▲グリーン氏（トーマスタアダ東洋總支配人）[illegible]

第七十八期貸借對照表

負債之部

科目	金額
諸預金	[illegible]
借入金	[illegible]
他店より借	[illegible]
資本金	[illegible]
諸積立金	[illegible]
滯貸準備金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

資産之部

科目	金額
諸貸出金	[illegible]
割引手形及び荷爲替手形	[illegible]
預ケ金	[illegible]
雜勘定	[illegible]
有價證券	[illegible]
他店へ貸	[illegible]
地所建物	[illegible]
抵當流込物件	[illegible]
本支店間未達勘定	[illegible]
金銀有高	[illegible]
合計	[illegible]

利益勘定

科目	金額
當期純益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
積立金	[illegible]
賞與金	[illegible]
配當金（年八分）	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

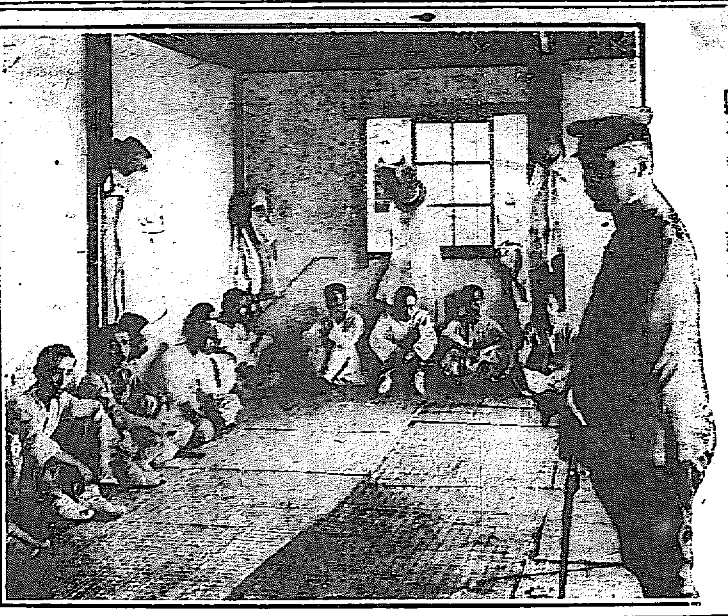
右之通候也
長崎縣長崎市築町百七番戸第壹號
株式會社 十八銀行
頭取 永見寛二
副頭取 松田英三
取締役 高橋守太郎
同 野口孝太郎
同 足立瀧二郎
同 松田精一
前記ノ各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也
監査役 藤瀬宗一郎
同 山田又三郎
同 高見和平
十八銀行京城支店
十八銀行龍山出張所

寫眞
寫眞出張撮影
寫眞銅版亞鉛凸版
[illegible]
京城日報社 寫眞製版部

賣却廣告
一拾四ポンドレール壹哩
右至急廉價に賣却致候間御希望の方は御申越被下度候
京城太平通一丁目
加比老商店
近藤謙助
電話八三五番

●夏物紺セル洋服 鐵道局拂下品
一等無キズ品 壹組參圓五拾錢
二等品 壹組貳圓五拾錢
三等品 壹組壹圓五拾錢
以下壹組壹圓
其外雨覆日覆用携帶天幕
雨合羽冬絨洋服外套類
龍山元町二丁目
和洋服商 金子奥市商店
振替京城三八一〇 電話[illegible]

石龍子
高弟 隈本修平氏
南鮮地方出張中の處過日歸著從前の通り一般鑑定の依頼に應せらる
鑑定所 京城旭町日の丸旅館
鑑定料金壹圓
當地 後援者一同



隈部部長の訓示……中毒者收容所にて……

●モヒ中毒八十餘名

廿七日より開設の救療所に收容　目も當てられぬ收容室内の光景

本道警務部及び京城府廳經營に係るモルヒネ、コカイン中毒者救療所は二十七日より開始された此の朝本町鍾路兩警察署にては午前四時頃より迅雷耳を蔽ふ暇なき敏捷活動の下に豫て調査し置きたる所在中毒者を襲ひたれば何れも

▲逃走の隙なく　本町署の手に六十二名鍾路署の手に二十名の中毒者を引揚げ逃走を防ぐ爲め多數の巡査警戒の下に午前十一時頃順化院の一部に新設したる救療所に收容した此の內歩行に堪へざる者二名は病人運搬車にて收容したり中毒者は何れも顏色憔悴形容枯槁し多くは乞食にも劣つた風體をして居た救療所は元延禧宮內順化院の一廓內に在り

▲十數日前より　修繕掃除し一號より三號迄の收容室及び事務室醫員室賄所等悉く整頓した收容患者の中相當の生活を爲し居る者は之れを一號室に容れ二號室には多く重症の者を收容し三號室には極貧者及び中毒の外に惡疾ある者を收容した此等の患者を連れて來た光景は實に慘憺たるもので、あつたモルヒネの昂奮から醒めて其處でも其處でもアイゴ〳〵と苦悶を始める其の內に部室から飛び出して其の上をノタ打ち廻つて泣き喚く者もあるし中には鼻下に立派な髯を蓄へた四十男が泣き乍ら

▲七轉八倒する　それでも私はすに置けば彼等は遂に死んで終うから取あへず醫師がモルヒネを注射してやるとケロンと忘れた樣に起き立つて大欠伸を連發する主任醫師前橋警察醫の話に由れば中毒者を治療するには藥癮等の怠慢を誡めモルヒネ、コカインの昂奮より醒めて苦悶の末昏睡狀態に陷り死に垂んとする毎に少量づつの注射を爲し漸次

▲注射量を減少し　一方身體を强壯ならしむるのであるが大抵輕きは十五六日重きは七十五日位で治癒する事が能きると云て居る中毒者の一人の談に私は元朝鮮步兵隊の兵士でしたが其後商人となり元山で商業に失敗し八百圓ばかりの財産を失ひし爲め悲觀し自殺しやうと思つて居る內京城の友人がお前はその如に迷いで居るよりもモルヒネでも注射して鬱を晴したらよからうといふ勸めに從つて

▲一度注射した　のが原に成つたと云ひ或者も之れと同じく宋秉畯子の金を借りて商法したが失敗し自殺する爲めにモルヒネを呑んだが自殺が出來ずそれよりモルヒネ中毒を起しモルヒネ注射をしなければ居られぬ樣になりましたといひ或者は酒が强くて酒では却々醉へぬ處からモルヒネの昂奮を求めたもの或者は胃痛腹痛に用ひて中毒を起したものもあつた

▲隈部警務部長　及び金谷府尹より一同に對し懇々と訓諭する處あり一同收容の意味が分つたと見れて淚を流して感謝して居つた

■注射がしたさに惡事を働く

恐るべき惡感化＝隈部警務部長談

モルヒネ阿片等の中毒患者を收容して救護手當を施しつゝある箇所としては曩きに新義州、元山などあり又京畿道管內では仁川も既に著手し何れも相當の効果を擧げてゐるが、京城では

▲今回が初めて　である、何しろ是等の中毒患者は最初支那から輸入されたもので今から十年前位迄は頗る多數の者であつたが年々の結氷期間中に行倒れとなつて死亡する行旅病者の大半は殆ど是等の患者であつた、夫れで以前に比較したら現在では餘程其の數を減少してゐる譯である、併かし京城は人口の多だけ他の所よりも幾分多く居る次第で道に驅り立てたるものは主として無財產の一定の住所もなく府內を徘徊する下層のもの丶みである府內も主として本町鍾路の兩署管內を漂泊してゐるものが多く

▲全部で約百人　の見込みであつた、此の中毒者の原因を調査して見たら胃病や腹痛を治療する爲めモルヒネ或は其他の劇藥を注射して卽効を得たのが原因となつて、引續いて注射をやらねば身體の自由を失ふやうになつた習慣的のものもなつたものもあらう、其他惡感化を受けた結果中毒患者となつたのもあらう何れにしても一度中毒したものは注射を斷絕すれば非常に衰弱して苦痛に耐へ兼ねるやうになるものだから無財產の者等は勢ひ惡事を働いて

▲注射料を得　やうと小泥棒などするやうになり、勞働は出來ず收入の道はなく生活した上に注射する劑藥迄買ひ求めねばならぬといふ譯になる今回の計畫は是等の患者を一箇所に收容して根本的に療治するのが主眼である大抵の重症患者も二箇月間治療すれば略健康體になれる豫定であるが一先づ壯健になつても退院後又注射したら甲斐のない譯であるから再度擢らぬ樣に戒飭を加ふることが要點である、入院中は無聊を防ぐ爲め何か

▲簡易な手仕事　位をやらせ收容室は勿論附近の草拔り掃除、鋪路の掃除などを受け持たせる心算である、朝夕の起居動作なども可成規則正しく時間勵行を行び一日も早く健康體に復せしめ正業に就職せしめたいものだ、彼等の小泥棒を檢擧して處罰するよりも先づ根本的に心身の恢復を計らしむるのが急務だから之に著手した次第であるが日常の保護に就ては警務部の衞生係が主として擔當し警察醫が治療に從事することになつてゐる、尤も入院期間は重きものでも先づ二箇月間の豫定である

●閑院宮殿下御差遣

露國皇室の御都合を照會中

宮內大臣の談に依れば今春御來朝のミハイロウヰッチ太公殿下に對する御答禮の爲閑院宮殿下を御名代として御差遣の事は既に內定して目下外務省より露國皇室の御都合を照會中なれば何れ近々の中に確定すべきも其以上の事は今日何等の取定めたること無し尤も供奉員中に式部官、陸武官、外交官等の參加すべきことは事實なれど何事も

▲露帝の御返電　ありての後の事なりと又宮家家扶の談に據れば殿下には曾て佛京に數年間御滯在あり明治三十三年巴里博覽會の際にも御渡航遊ばされ露都を御訪問あり丁度今より十七年前の事にして愈々今秋御出發と決すれば神戶若くは門司より御乘船、釜山より汽車にて西伯利亞鐵道を露都に成らせ給ふ事なるべく平素

▲極めて平民的　の御性質なれば御旅行等のことは頗るお手輕に遊ばさるべし現に去る二十二日の朝の如き小田原御別邸より妃殿下並に若宮殿下とお揃ひにて御歸邸遊ばされたるが極く簡易なる白の脊廣を召してサツサと御氣樂に御昇降遊ばさるゝ始末にして聊かも御不自由の御樣子を拜せず海外に御出掛け遊ばされたりとて何等御大儀は在さゞるべしと(東京)

●鋼鐵王と語る

九月には再び來遊せん

米國實業界大立者鋼鐵會社長エルバート、ヘンリー、ゲーリー氏夫妻は從者二名と共に廿四日正午橫濱に入港せし加奈太太平洋汽船エムプレス、オブ、エシヤ號にて來朝したり氏は上甲板にて語りて曰く『余の今回東洋に來たりしは全く新販路を開拓せん爲めにて造船及び船渠事業は未だ具體的の成案に非ざるが貴國の實業家諸氏と會談の上の事にて前途遼遠と云ふ可し余は本船にて二十四日夜出帆香港より馬尼剌及び支那を廻りて九月には再び來朝すべし同地の視察も一に販路開拓にある也』と(東京)

●帆前船の難破

江原道原州郡富論面興湖里生れ船夫朴今先(三二)は十七日正午頃同郡文幕里前の漢江岸にて外二名の船夫と共に帆前船に乘込み漢江を下航中暴風に遭ひ船體は沈沒したるより他の二名の者は辛うじて河岸に泳ぎ上りしも今先のみは遂に溺死したれば親族の者六名は小舟を操り屍體を搜索し居れる內十九日午後一時頃京畿道驪州郡康川面康川里前の水中に浮流し居るを發見し憲兵檢視の上屍體を引き取りたり

●大掛の紙幣僞造

釜山米穀商金某、鄭某等は慶南銀行金庫係と共謀し大掛りにて朝鮮銀行紙幣の僞造を圖り夜間金庫係をして保管金と僞造紙幣とを取り換へさせんと圖り神戶生れの岡本吉次郎、京都生れの都賀菊藏の二名其の手先となれる事發覺し二十六日引致せられたり(大阪電話)

●又も學生の溺死

京城太平町善隣商業學校學生三國武雄(一五)は二十七日午後一時龍山漢江に水泳中溺死せり目下屍體搜索中

●東西合併相撲

朝日山死後東西合併大相撲の件は過日藤島時津風の兩名東上、東京相撲協會役員と打合せの結果來る十月上旬大阪千日前に於て故朝日山追善興行をなすに決定せり(大阪)

●高田丸船長の判決

去る二月一日夜北海ニューファンドランドのレース岬の沖合に於て英國石油船ニルヴアンエル號と衝突し遂に沈沒の災厄に遭ひたる郵船會社所屬貨物船高田丸(六千七百廿八噸)の船長アルバート、エツガー、モーセス氏に對する審問は去る廿日以來東京地方海員審判所に於て續行中なりしが愈々審理を遂げて廿四日午前十時譴責處分の裁決言渡しあり氏は抗告せず米國に歸省すと(東京)

●米國夫人の觀光團

米國市俄古市の夫人觀光團ミス、ロー一行六名は二十七日朝入港の聯絡船壹岐丸にて上陸同十時三十分京城に向け出發せり一行は七月初旬橫濱に上陸し東京、日光、名古屋、大阪、神戶、宮島等を見物し孰れも日本の風光明媚なるを讚美し居れり(釜山電話)

●他人の妻を辱しむ

京畿道利川郡清渼面長湖院里生の尹萬山(二五)は長湖院郵便所の配達夫勤務中六月十七日正午頃配達を了して歸所の途中清渼面豐界里朴春景妻李他官が同里の麥畑にて麥穗を拾ひ居れるを見て脅迫して同面老塔里の山麓に連れ行きて松林中に引き入れ辱めた上倘も同里の金氏方に連れ込み再度弄びたる一件は遂に檢擧されて此程京城地方法院の公判に附せらる

●小兒嬰兒を殺す

富川郡富來面九月里一統二戶鄭英熙の妻李姓女が廿三日午後三時頃長男京城(一二)を温突內に寢かし置き洗濯に趣きたる留守中隣室なる盧千萬の長男鐵東(三)が遊びに來り何氣なく傍に置きありし洗濯用苛性曹達液を京城に飲ましめ居る處に母の李姓女歸宅し此樣を見て仰天し直に應急手當を加へたるも遂に二十五日午前三時死亡したるにより檢視の上屍體は母李姓女に引渡し鐵東の實父盧千萬には嚴戒を加へたり(仁川)

●橫領

江華郡府內面新門里尹秀德(二八)は前科一犯の曲者にして六月二十七日江華郡府內面新門里金順慶なる者より同里金淳黙に對し金二圓及び信書一通の交付方を委託せられ之を橫領したる爲被害者の告訴を受け仁川支廳にて懲役五月に處せらる

●牛を騙る

江華郡松海面下道里柳百興(二九)は本年六月二十六日同郡河站面三巨里高錫鉉方に到り牡牛一頭を騙取し同二十八日同郡松海面塘山里朴聖德より預りたる衣類雜品七點を橫領し仁川支廳にて懲役六月に處せらる

●小兒の大火傷

京畿道水原郡允章面仁溪里李昌振四男李元成(三)は十六日午後一時頃自宅にて裸體となり遊び廻り居れる內火鉢を抱へ上げんとして轉倒し全身に炭火及び熱灰を浴びて大火傷を負ひたるより直ちに水原慈惠醫院に入院加療せしも間もなく絕命せり

●搔浚ひ

住所不定の西村虎吉(三三)は七月七日龍山榮町高橋某方にて手拭一筋を窃取したるを手初めに龍山各町を徘徊して煙草、時計、食パン等手當り次第のものを店頭より搔つ浚ひ居れる所を龍山分隊の憲兵に捕はれ取調べの上檢事局へ送らる

●新義州初日取組

東京大相撲西の海大錦の一行は來る二十八日午後八時十三分新義州驛著列車にて乘込み大錦以下西方一同は新義州に下車同地岩田旅館中津旅館日勝館其他に分宿し東方西の海一行は安東縣に渡り元寶館富久壽美喜久旅館安東館花園丸小の各旅館に分宿し二十九三十の兩日間新義州濱町と本町の境なる多田商會前に於て興行の筈にて前景氣頗る盛んなり初日取組如左

紀の川	小島洋	男島	大門岩
綾鶴	玉柳	朝日山	[illegible]柳
成瀨川	一湊	龍ケ崎	稻葉嶽
常の花	駒泉	四海波	朝緑
梅川	紫雲龍	宇都宮	近江蕉
逆鉾	大の川	九州山	小常陸
栃木山	源氏山	西の海	綾川
對馬洋	釋迦嶽	兩國	大錦

●惡驛夫

仁川寺町二丁目臨井源平方大鶴善次郎(四〇)は仁川驛々夫に從事中御召女裕一枚瓦斯絣女物裕一枚女帶一筋を窃取したる事發覺し廿四日仁川支廳にて懲役三月に處せらる

●平壤の赤痢

平壤大和町三谷活版所の竹好之助(二)は二十四日赤痢病に罹り卽時慈惠院へ入院せり

●毆つて笞刑

江華郡府內面高太相(二九)は本月七日午後九時頃同郡松海面下道里の路上に於て通行人を捉へて毆打し被害者の告訴を受け仁川支廳にて笞九十に處せらる

▼玄翁を振つて

…なあに二百度以上には上るまい!…

東大門から出て東北を眺めると目が痛いほど眞白な花崗岩の山から銀を鎔かした樣な陽炎がカツ〳〵と立昇つて居るこれを塊頭石山と云ふそこで一年中カン〳〵と石を切り出して居る

‖冬は南を受けて‖

寒い北風を屏風の如うな山に受けた日溜りだから暖かであるが其の代り今日此頃の暑さと云つたら實にお話しに成らぬ、一寸灼けた石の上に尻でも置かうものならすぐ骸が煙突に化つて口から煙を吐き出すかと思ふ程であるよしそれほどではなくとも

‖照り付ける白岩‖

を見て居ると目が暗らんで倒れそうになる此んな暑い處で二貫目位の大玄翁を振り揚げて石を切つて居る工夫の身に成つて見たら隨分熱いだろうと思つて聞いて見ると『そりあ―もう焦熱地獄ですよまあこの石へ手を當てゝ御覧なさい、掌がお焦げ付きまさあ、それから

‖この玄翁ですね‖

かうやつて、岩の角を擲ぐる每んびに稻光の如うな火を飛ばすでせう、これだけでも暑いです、それにこの風はどうでせう、まるで火事場から吹いて來る風のやうです、こんな山に登つた日にゃ

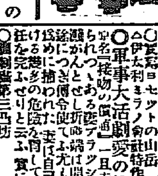
‖涼しい事なんか‖

考へちゃ居られないんです、なんだこれきりか、これより暑くは成らねのか、と氣張つて居るのですね、さうすると少しは辛棒出來ますよなあに二百度以上には成らんでせう』と强い事を云つて居る

‖切り出した石を‖

『石切りも暑いには暑いが山から運び下ろす役目も却々キツいのですアレ御覧なさいあんな石の柱のやうな大きな石を擔ぎ下ろすでせう、草鞋から火が出そうですよ』

金牌受領　髮を黑く長くつやを出しきらくとして髮の毛を防ぐ事妙



本椿香油

演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　電話八七三　大正館

○七月二十六日より特別大興行　○荒海馬賊の求婚　○實寫大阪每日新聞社主催ナイルス氏同乘空中大飛行の實況　○喜劇活動[illegible]の仲立

▲米國トランスアトランチツク會社傑作　○世界的大冒險大活劇『ハート』の3　(最終篇)二十五篇五十卷の內自第二十一篇至第二十五篇全十卷

▲大自然に遭遇せし『ハート』の3は愈々今回を以て全部完了せんとす[illegible]

東京落語　電話二六〇　明治町　浪花館　遊三一行

革新派　電話一一九一　成町　中村榮一行　御成座

一番目　軍用飛行機　二番目　喜劇やきめの出産

新派悲劇　呪はれし女　全四卷

最後の提供　「ハート」の3

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店　Mカシー商會　電話一八五二(階上)　二六三七(階下)　黃金館　七月二十七日より番組特別大寫眞

大人氣大好評　大正館

●マラリアに一番　ヨクキククスリハ　龍山林藥房製劑のマラリア特効丸　●ニセモノアリ御注意●　本舖　龍山　京城本町一丁目　Ⓗ林藥房　代理店　山岸天祐堂

●●●急告　滋養豐富なる人參キヤラメルを常に

召上る人は暑中の健康保全を保證す　內地土產及中元贈答品には體裁優美高尙にして保存に耐ゆる最好適品也　人參キヤラメルは外出の際は必ず御携帶あれ　▲本品は至る所の食料品店及菓子店にて販賣し居れり

京城西花壇の色

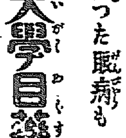
翠緑は滴りて香氣溢れる夜の雨に滌り出したる紅燈の二階に[illegible]茲に閑雅幽邃たる西花壇夜の色!!　燒くが如き一日の苦熱を一杯の沐浴に洗落して冷たきビールを召上るには夜の西花壇を御勸め致します。醉士雅客の御來遊を願ひまして待奉る

□□□御料理は衞生的にして極手輕　土用鰻は特別に大勉强仕り候　値段の安いとは主人の自慢

京城若草町西本願寺裏永樂町より入る　電話三三六三番　西花壇

內科　小兒科　花柳病科　眼科　呼吸器病　胃腸病　山田醫院　本町二丁目四十五　電話二八八〇番　專門　山田萬作　(入院隨時)　尾形周太郎

治ッタリ!　多年困つた眼病も



大學目藥

を點眼して立派に治ッタリ!

精撰牛肉　商　平壤大和町　山田商店　電話一三三一番

平壤大和町　赤かべ精肉店　電話三一八番

精肉販賣　平壤南門町一丁目　共榮舍　電話一一四番

平壤大和町　赤かべ料理店　電話三一八番

…は去る七月二日大連信濃町…內加東洋行に對し日新式防水原料を…歩きゐるを二十三日大連に於て逮捕…り乞取きて三箱百廿六圓に販賣した…されも旅順に押送目下嚴重取調中（大…

◎暑中休みの 汽車のお客

△南大門驛の此の頃▽

□暑中休暇となつた所爲か此の頃はなか〳〵お客樣が澤山です

□旅行のお客は何うしても涼しい午後七時五十分の夜行列車が多く朝の九時半にも相當に雜沓合ひます

□また昨今驛の下車客には毎便共に學生な徒のお客が多くそれにまた一般紳士の渡鮮者が激增して來たのも共進會の影響かと思はれます

□廿一日以來京城から歸省する朝鮮學生の團體は昨今漸く方付きましたがそれでも一般の乘降客數は昨年に比し毎日二三割方の增加と聞きました

□それにまた昨今は出迎へ見送りのお方が夥しくプラットフォームはこれ等のお客樣で充滿になります

□殊に七時五十分の釜山行き急行の如きは夕涼みかた〴〵のお見送りがなか〳〵多く殆んど寒い異冬の倍の倍數に當ります

□また午前九時卅分發の元山行き列車では金剛山見物のお客が增ゐました殊に洋人に多いのは彼地に溫井里ホテルが出來た所爲かと考へます

□來る八月一日からは毎日西氷庫行きの臨時水泳列車が運轉します發車時刻は午前の九時四十五分とお午過ぎの零時十五分でこれもなか〳〵の賑ひかと思はれます（南大門驛案內係某氏談）

◎昨今の鮮魚は 仁川もの、天下となつた

○京城の鮮魚は昨今仁川もの、天下となつた

○年中魚市場で幅を利かす釜山の鮮魚も此の頃の熱さでは輸送が困難で唯だ料理屋向きの小もの許り、鰈、きす、ど、烏賊などが來る

○また元山は午後二時過ぎに同地を發車する夜行列車が增發されて以前よりも餘程便利となつたが今年は何うも大漁が無い

○先づ昨今の元山ものとしては小鰯、鰆が來るばかり……

○仁川ものは鯛、鰆、鰈、鮑などで殊に鰈の洗ひは仁川ものでなくては叶はぬ

○これから八月中旬及び九月上旬にかけて鮮魚は仁川もの、天下である

□女中おのろ　めちや吉

山から出て來た許りの女中おのろ今日は珍しく靜かだと思つてみると、臺所の隅で不思議相な顏をして、一枚の撒し廣告を睨みつめてゐた。どうしたんだと訊いてみると

「奥樣！これはどう云ふんでせう此方な見ると裏を見よとありますから裏をみますと表を見よと書いてあります。表を見ますと又裏を見よと……何度見ましても同じ事で御座いますのに……奥樣……」

◎京城學生水泳會

府內各學校の水泳會は漢江西氷庫に於て來る八月一日から始まります鐵道局では特に午前九時四十分と午後零時十五分の二回臨時列車を運轉しますが歸りは四十分と午後三時四十分の歸投汽車があります因に中學校は一日から十九日まで小學校は一日から十日まで

◎明治天皇遙拜式

京城神社に於ては明治天皇祭日卅日午前十時十分より執行する事となり、同日は祭典に次で遙拜式を行はる、然し本年は御大祭の御儀なく唯だ四年御例祭の執行せらるゝのみなれば別段祭典の執行なき由なるも當日は一般氏子有志の參拜者多かるべしと

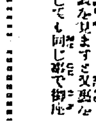
◎御聖忌法要

府內若草町本派本願寺にては來る三十日午後八時三十分より明治天皇御聖忌法要を謹修すべし、法話は松原開教使之に當り、導師となり鈴木九山參列、同朝鮮總督府の諸氏參列あるべしと

番茶のあとさき

京城市中で一番忙しい電話と云へば先づ南大門驛の案內所と兩替所の電話だ相な△案內所の電話は主に時計を訊き合はせる人が多く、それに釜山行きは何時か、何の某が入京したかで案內係は眼を廻す△殊に朝鮮のお客樣のモシ〳〵は叮嚀なのと暇どるので更に眼を廻すとの事

だいどころ　その日〳〵



回 炒らくがん　上砂糖を百目多くにてこし水を少し加へ…に振り込みながらまぜにぎりしめてこわれぬ程まで水をふり落こがしをし五合とおつめて固き器へ入れ兩手にてよくもみらくがん形にいてぬき鍋を火の上にあげて乾いろをつけて用ふ

◎國境から廿里程を牛車の旅

□咸北穩城公立普通學校長　雨宮辨造先生談□

◇私の勤めて居る咸鏡北道穩城の公立普通學校は朝鮮中の最北に位する學校と申してよろしい

◇何分京城からの郵便物が五六日乃至一週間でなければ届かぬ程な山奧なので交通の不便なことも實に想像以上です

◇京城からの歸りは先づ元山から船で淸津港に上陸し其處から工事中の淸會鐵道に沿うて國境會寧に出で更に陸路二十里程の道を歩かねばなりません

◇會寧からは圖們江の流れに沿うて材木の筏を下して居りますが旅客を乘せるやうなことは極めて稀れのやうです

◇それで陸路は何うしても北鮮特有の牛車に乘るか支那馬車によるより外はありませんが道路は會寧から立派な坦道が開通して居ります

◇穩城は國境に沿うた六鎭の一つで在りしむかしを偲ばせる城壁の石垣は今猶ほ依然として遺つて居ります然し朔北の雨風に古びし城門の建物は遺憾ながら取壞されました

◇何分寒い土地だけに冬は氣溫が零下四十度以上に下ることもありますが夏は京城邊の暑さと變りません

◇併し夏の暑さは畫間の三四時間で朝夕は約五六十度も溫度が下ります

◇圖們江は邑を距る十町ばかりの東方を流れて居りますが川幅は約三四町中にも黃波鎭のあたりは跣足で渡れる位な淺い所もあります

◇釣魚は餘りに振ひませぬが初秋の頃には鮭の大きなのが澤山獲れます

◇それに每年春秋の頃には臘の大群が畑に下りますから鮮人は網をもつて捕獲して居ります

◇學校では十四五頭の緬羊を飼つてゐますので生徒は此の頃牧草刈りに勵むで居ります

◇內地人は約七十名、官公吏、商人、宿屋等で內地人の小學校はありませんから私の子供などは會寧の寄宿舍に預けて居ります

◎婦人界消息

△手塚とき子（京城中學校教諭夫人）　廿五日總督府醫院にて逝去葬式は神式により廿五日執行されました、手塚先生は近く遺骨を携へ郷里福岡に歸られます

△宗像いつ子（京城府商所主）　廿六日夫婦にて歸京されました

△一ノ瀨三保子（南大門小學校長令閨）　廿三日來京、安東方面へ旅行中のところ廿六日歸京されました

◎教員講習會茶話會　目下京城小學校に於て開會中の全鮮各地小學校普通學校內地人教員の講習會員は廿八日午後五時より小學校體操場にて茶話會を催すべし同會は鮮政務總監の出席あるべし

神社とお寺と教會

○園柱會京城局（初音町）　明日午後八時より明治天皇聖忌法要を謹修し伊東講師の法話あり

○曹洞宗別院（若草町）　廿八日午後八時より宗祖忌の法要及び說敎あり

—△會いろ〳〵▽—

「青年會英語會」　廿八日（金曜日）午後八時より同會、指材孝監師ロープ氏の講演あり

「體操研究會」　八月一日より約二週間午前七時より同十時まで崇仁洞、淑明、女學校にて開催主催者は私立養正高等普通學校、私立進明女子高等普通學校及び私立淑明女學校の三校にして教育、衛生、府內官公立學校職員の入り各種指導する由因に講師は小杉彥治氏なり

宮本武藏

第百十二回

桃川如燕口演　浪上義三郞速記

長岡監物小笠原右近將監忠眞侯の前へ出て平伏いたす　忠『監物か、久しぶりである其方も壯健で目度い』監『へ、エ御前樣にも御機嫌能う』忠『若樣……監物若樣は猶いそ』監『其れでは和兒樣……』忠『惡るい其方は何處に相成つたな』監『當年六十八才でござる』忠『既に先年お見上げ申した時より大きう御成り遊ばした』忠『モウ宜い加減に致せ當年三十八才だこれで大きくならなければ何うかして居る』殿樣も熱い、監『……』忠『何た、大變な爺だと思つて居る』監『御意の如く拙者今般參上仕りましたは卽ち御當家の宮本武藏の儀でござる』忠『ハア武藏か、武藏の事は予の方よりも問ひたいと存じて居つた、如何致したか』監『當月二十五日の曉熊本城下井芹川堤に於て時ならぬ刀の響音、夥ただしき人聲に何事ならんと心得、馬を飛ばして乘付けましたる樣子を見ると一人の若き武士、大勢の者を對手として、獅子奮迅の勇を振るひ、血汐の雨を降らし劍の電光と閃かす、何者なるかと名を聞へば小倉藩士と名乘りまして、ござる』忠『ハ、ア』監『對手は卽ち城下長者町に道場を開き三國無敵流の劍術を指南いたす佐々木岸柳の門人達、其數は百五六十人師岸柳の仇とあつて四方八方から押取巻き、得物刀は申すに及ばず鐵砲石火矢』……忠『大變なものを持出したな』監『拙者之れを見るより、武藏の一命救はずんばあるべからずと考へ割つて入り、當るを幸ひ薙立て居りました』

忠『お前なぞが、何分其れ無敵に嫌ふ、殊に何分敵が多く、然し手前も老毛といふほどでもございませんが段々年を老りまして近頃は眼も少し霞みます耳も少し可怪しくなりまして昨年から炬燵を入れて寢る樣になりました』忠『其んな事は什麼でも宜しい、武藏は什麼した』監『武藏は働らいて居ります、手前も救けたいと存じ一生懸命に働らきましたが力及びません』忠『武藏は什麼した』監『手前も慶元兩度の戰ひに於ては大阪城內にあつて擒園右衞門、岡部大覺など、並んで目覺しき働らきをいたしましたが麒麟も老れば駑馬に如かず』忠『武藏は什麼したと申すに』監『デございますから武藏も遂々參つて了ひました』忠『參つた……』監『へエ討死を致しました』忠『ウーム』監『唸つても不可ません、何しろ對手は百五十人、武藏が叶ひません、尤もとでございます、併し手前も其切り指を咥へて引込みはいたしません、忽ち城內へ取つて歸して大勢の侍を召連れ、井芹川堤へ出張に及んで岸柳の門人共を片ツ端から取つて押さへ、悉とく縛めました上重立つたる者共を打首、餘は遠島申付けまして、ござる喧嘩兩成敗の法度の通り、宮本の屍骸は手前宅に引取り、茶毘一片の烟りといたしましたが、取敢へず御當家へ御届け申上げます次第』忠『ウーム武藏は落命いたせしか』監『其れに付き御願ひの一儀あり、武藏は御當家の家臣とは申し乍ら當時は浪人、浪士沒したる時は其地の領主之れを葬むるは幕府の掟でござる、殊に宮本如き名士は之れを厚く葬むるが國主の禮、依つて遺骨は細川家菩提所へ厚く葬りたしといふ主人越中守忠利の希望でござる、此儀何卒御聞濟下さるやう願ひ奉つります』と言訖つて右近將監の顏を見た、人を喰つたお爺さんもあればあるもの、暫時眼を閉ぢて考へて居りました忠眞侯『ハア武藏は確かに落命いたしたのぢやな』監『へエ御意の通り』忠『遺骨を越中守殿御懇望にて菩提寺へ厚く葬りたいと申されるか』監『左樣にございます』忠『宜し、其方の使命聞届ける、立歸つて主人越中守殿へ復命いたせ』監『主人懇望お聞屆け下されますか有難う存じます』忠『聞屆けるぞ』監『有難き仕合せ、主人忠利も滿足仕ることでござりませう』忠『老人使者大儀であつたコレ盃を遣はせ』茲で御前に於て御盃を下し置かれ、長岡監物に於ては上々の首尾で退出いたしましたが小笠原右近將監忠眞侯跡見送つて、忠『ア、細川の柱石は長岡監物、予は遂に名士を一人彼れに奪はれた』と御嘆息になりました。

院長病氣全快從來通り診療仕候　京城本町一丁目　耳鼻咽喉科醫院　杉本　電話一二三〇番

◉圖書雜誌旅賣　雜誌　迴讀會　古本高價買受　◉京城本町一◉　松井松榮堂　電一三七八

七月二十九日九星

舊六月三十日丁卯　本命九紫　開成大安

▲九紫 頑固では通らぬ事有日 新事見合西方は吉時▲一白 温和せざる事有日 新事手控▲二黑 威勢よき日 轉居入學企畫は妨なし▲三碧 利談名弘家作求職 萬事順調▲四綠 上首の日 男子は志願を瞬へ女子は意外の喜び▲五黃 惑なる日 轉居旅行入門名弘求職金件▲六白 萬事手控▲七赤 靜の日 新事にせよるべし▲八白 中…

商況

公債直取引（京城）

二十七日京城取引所相場と前日との比較

甲二分特別	八二、三〇
五分利公債	九八、六〇

深川在米特電

二十七日現在　内地米　東京米　地廻米 [illegible]

東京期米特電

二十七日前場　當九月限　四一、八六　四一、八三　四五、五

大阪株式特電

二十七日前場引　東京株式　大阪株式　日本郵船　大阪商船　鐘紡…

大阪期米特電

二十七日前場　先限　中限　當限　三二、六五　三三、〇四　四五、八

下關期米特電

二十七日前場　當限　中限　先限

雜報

◉綿布益々活況

綿布相場二十六日の入電は益々騰勢を辿り…更に五錢高となる

◉拒絶の絶對注文

近來各社共に他の有利なる內外需要の好況を呈し…

◉麥類の昨今

約千八百叺

相場の一下げ

裸麥大麥

◉新期移入の困難

◉セメント拂底

…五圓四五十錢

◉洋釘低落す

一時二分五厘乃至一時七分五厘及三時に一圓方二時半以下の細物は五十錢方を引下

◉牛皮は見送り

行き定原皮界の雲

殆ど危險尤も甚

◉鰊は在品薄

殆ど一掃

◉氷漸く頻繁

下關相場

京城正米

南大門の廻穀

仁川玄米　五〇〇叺　新幕小麥　七五叺　興水小麥　一〇〇叺　鳥山玄米　五〇〇叺…

仁川現物市場

▲正米　入津少なし氣配は不相變強▲大豆　入津少なし…

釜山市場

…廿六日

生魚市場

仁川期米

二十七日前場　十四圓五十八錢　昨止より六錢高

市場頭重し

前場零聞

無慮一萬餘石

賣物一節

大混戰

前場の手振

利喰千人力

前場大混戰

買物多く顯現の大利

喰賣現の暴騰

大阪の暴騰

▲中限の活躍

三十錢丁度

暴騰に何ぞ伏在

裏面に何か伏在

▲當限解合

解合値段十二圓七十錢

四千石は或る事情

許に十二圓五十錢

貫米となり

▲解合に就き

解合第二回目

尙他に解合談

▲期米目先觀

四萬石乃至五萬石の大受渡

六萬石の大取組

伸縮自在

時的人氣の發作

仕手の關係

狼狽煎買多

試み方安全の策

仁川米豆取引所仲買人　日　仲買店　支配人　土居　電二八二番・三八三番

確實　迅速　仁川米豆取引所仲買人　マ　廣瀨正次郎　（定期米現物案内御報次第送呈）　電話　五〇番　六〇番

仁川米豆取引所

二十七日の九月限

	前場
寄付	十四圓四十錢
高値	十四圓四十五錢
安値	十四圓三十錢
止め	十四圓三十五錢
出來	三萬六千石

平均値段	
一節	十四圓四十錢
二節	十四圓三十錢
三節	十四圓二十錢
四節	十四圓三十錢
五節	十四圓四十錢

賣買取組高

	前日	後場
七月限	五萬	三、〇〇〇
八月限	二萬	三、九〇〇
九月限	二萬二千	三、四〇〇
十月限		三、〇〇〇

ミツワ石鹸（みつわせつけん）

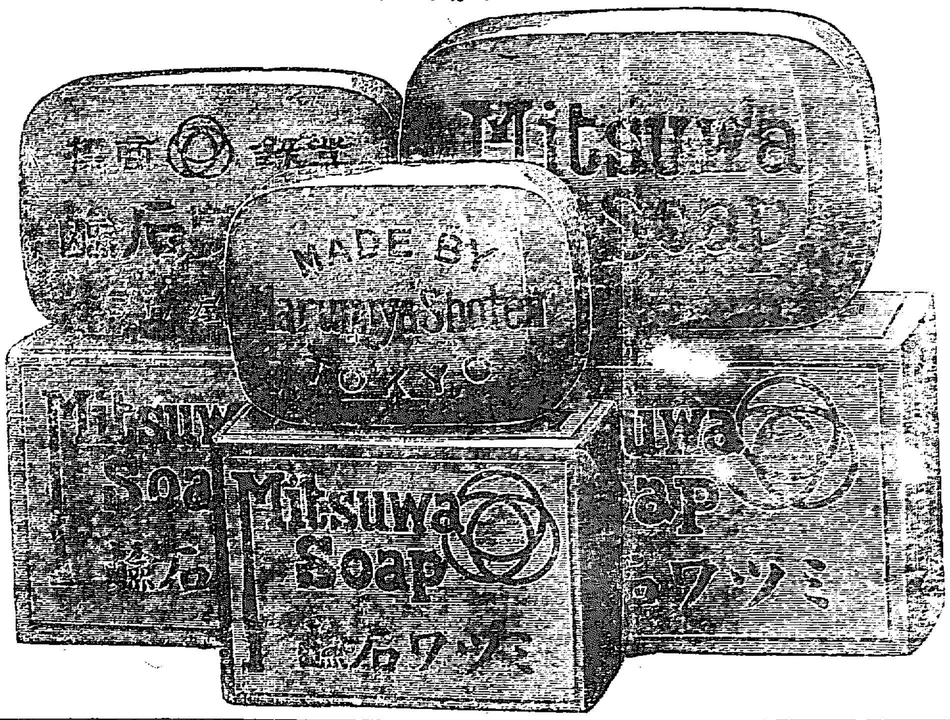
凡そ石鹸は、工業用、洗滌用、洗濯用、浴槽用、化粧用等各用途に從つて其種類を異にすと雖も、而かも皆等しく、遊離の亞爾加里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髪の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は、啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

ミツワ石鹸

は化學上の純石鹸たるのみならずなほ左の性狀を共備す。

一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ひず。
二、溫雅の芳香を有す。
三、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し、而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹸なり



擔任技師　工學士　藤野大治郎

▲賣捌＝全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店

本舖
ミツワ石鹸
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元　丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
電信略號（○ミヤ）
振替口座東京七一〇〇番
營業部電話　浪花三〇九八番　[illegible]

無類拔群の
優良煉歯磨
ライオン煉歯磨は

舶來品を壓倒して、內外到る處盛んに愛用されて居ります。

ライオン歯磨　ライオン石鹸　本舖　小林富次郎
新築營業所　東京本所區外手町

(500-5)

朝鮮人參應用　ホーカースヰートの原料

日本全國の御家庭一人殘らず

滋養強壯料ばかりで精製したおいしいお菓子！

食るだけ血となり肉となる
ホーカースヰートを召し上れ

暑中　涼味
家庭御常食
お贈答品、お土産物
御携帶、お配物に好適

參考
■子供の發育をよく
■仕事の精力つき
■咽喉か整へ聲か美し
■胃腸の疲れを保ち
■血液の循環を助け
■息切れを治め
■顔色をよくし
■入浴旅行に携ふ時に
■時候變り暑氣に備へ
■頭の工合を爽にする

定價　小函十錢　大函十五錢　送料四錢

▼全國到る處の食料品店、菓子店、雜貨店、藥店等にあり、品切れの時は直接本舖宛御注文あれ（大函五個以上は送料不要）

ホーカー本舖
ホーカー白粉
ホーカー美顔水
ホーカースヰート
本舖　東京和泉橋　堀越嘉太郎商店
振替東京一五六

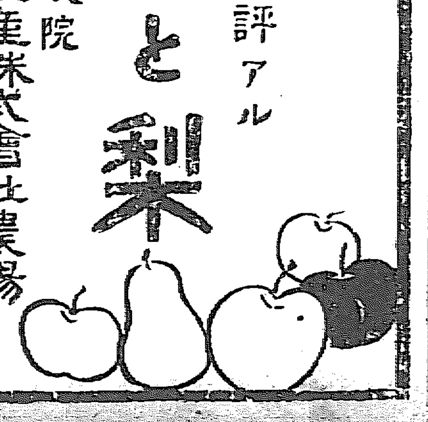
國產　サッポロ　アサヒ　ビール特約店

輸入貿易　綿糸綿布商
朝鮮平壤大同門通
𠆢 河野支店
長電話一一五番電略（カ）

京城旭町一丁目
內科小兒科
入院隨意（普通特等に隔離特室）
小林醫院
醫學士　小林千壽
電話六九二番

美味ヲ以テ好評アル
林檎と梨

朝鮮鳥致院
弘益殖產株式會社農場
振替京城一〇番
電話鳥致院六番



第三版

京城日報

日露貿易

大阪期米特電

仁川米豆取引所

△天候回復す

歐洲戰と北米合衆國（六）

日米將來の經濟的關係

五 積極的政策

▽金本位と米土義

八千三百萬、其内の七千三百萬位が合衆國人が一億、加奈陀が八百萬あるが、他の二十の獨立國全部は小さいパナマや其の他四五箇國に過ぎない。

▽貿易とトラスト

御承知の通り亞米利加にはトラスト問題が、從來やかましい問題で、所謂トラスト退治などをやつて居たのであるが、此頃は海外貿易の工業に對しては、トラストは寧ろ奬勵して宜いぢやないかと云ふ激論さへ起つて居る。併しどこまでが對内貿易であるか、どこまでが對外貿易で、實は其區別はむづかしいものであるが、兎に角昨日まではトラストは退治しなければならぬと騒いで居つたものが、今日は或る方面に於ては之を援けて行かうと云ふ頭になつて來たのは餘程の變化である。其他或は職工教育の方法を改めるとか、或は海外に向つて放資を盛んにするとか、列擧すると色々實行せんとしつゝある方法があるが、長くなるから省略する事と

大阪だより

△窯業界と配當

歐洲戰亂以來本邦窯業界の好況につれ頗る巨額の配當を收めたるが就中岡山縣和氣郡三石町に工場を有する大平鑛山本社の如きは十四割を筆頭に十三割三分の配當を擧げ居れりと

△井上密氏重態

前京都市長井上密氏は昨今痛患に陷り病勢は刻一刻惡しく居れるが廿五日の市會は慰勞金一萬圓を贈呈する事を決議せり

△石炭運賃低落

昨今近海航路運賃は低下せるが目下の石炭運賃は門司橫濱間二圓六十錢門司香港七圓にて門司香港の如き最高より約六圓方の下値にあるが獨り帆船は依然持

城壁文學

小田省吾

（第八）都城築造餘話

三 世宗朝の救護事業と

京日詩壇

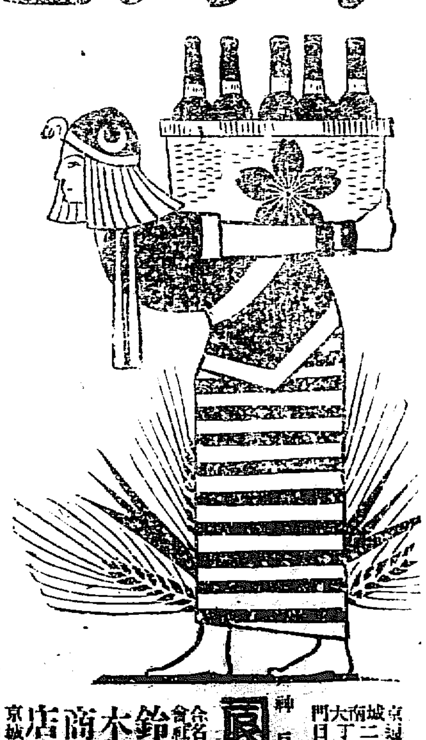
見山觀白絲瀑　火洲　泉田豊

次韻山見登十國嶺詩韻　四谷　波多野敬直

學生 夏季休暇號

▲蛇 主筆 大町桂月 ▲沖の漁火 原博士 ▽旅行法の提供 ▽深海の秘密 ▲軍事費 ▲山か海か ▲探撿記 ▲萬里の長城 燈臺ロマンス

富山房



京城南大門通二丁目 神戸 鈴木商店京城出張所 電話二九一

淑女画報 七月號

博文館

愈々來る八月一日より賣出し

安東縣吉備洋行 貯藏高約五千噸

販賣希望者は至急御申込相成度候

京城以南委托一手販賣

京城古市町 米地商店 電話

◎書籍案内◎

國民叢書

京城日報社代理部

◎龍濟光最後の決心

龍濟光は岑春煊の軍と戰ひつゝあるが勝敗未だ決せず、龍は誓言して曰く苟くも一兵一彈を餘す限り斷じて屈せず唯力盡きて後止まんのみと(北京特電)

◎岑春煊殺害風說

岑春煊氏は殺害されたりとの說あり(北京特電)

◎聯合軍準備堅實

ソンム戰場に於ける聯合軍の準備は組織的に遂行せられたるが司令部の畫策せる處に依れば八日を費かすが如き突擊を行ひて人命を徒費せんよりは着々準備を整へたる上攻擊せんとするにあるものゝ如し(巴里電報)

◎チオーモン堡壘の一角を占領

ヴェルダン戰場にては過去數日間に亙る佛軍の顯著なる進出後スーピユ堡壘は恐らく獨軍の脅威を脫し得たるものゝ如く之に反しフリユーリに於ける獨軍突出點は益々危險に陷り同時にチオーモン堡壘も其の一角が佛軍の手に占領せられたる爲め事實上危險に陷り居れりと思考せらる(巴里電報)

◎英植民地軍の奮鬪

二十六日正午發表ヘーグ將軍の報告に曰くポジエールは今や全部英軍の手にあり我軍はポジエールの西方に於て更に前進を繼け堅固なる塹壕二條を奪取せり右の前進は植民地軍に依りて行はれ多數の敵兵を捕虜せるが中に五名の將校あり尙其の他の戰線には何等形勢の變化無し(倫敦電報)

◎英軍占領地點支持

佛軍の奪取せる占領地は依然支持せらる尙英軍の占領せる獨軍塹壕第一線はハルドクールの東北一三九高地よりマウレパ停車場に至る間なり而してフオク將軍麾下の軍は今やバーロー附近の境界ツエクール村落の東北部及びエトアルー森林を占領せし後奪取せるベルマンドビラーの西北地點を支持しつゝあり(巴里電報)

◎愛蘭國民黨の斷念

自治案の提出は徒勞に歸せん

愛蘭國民黨首領レッドモンド氏は下院に於て自治案に就て一場の演說を試みたるが終りに臨みて述べて曰く戰爭に對する予及び國民黨員の態度は今日と雖も何等の變化無く今後も亦變化あらざるべし、されど愛蘭國民黨は內政及び軍事に關し政府の施設に對し批評を試むるの自由を有するものなり右に對しロイド、ジョージ氏は辯じて曰くウルスター州に關する意見の相違は要するに用語の如何に歸すべきものなり又議會に於ける代議權問題も國民黨の反對に依り當初の申合せとは相違せる事態と爲りたれど元來如何なる協定も多少融通の餘地を存するに非ざれば實行難きものなり故に今日の狀態にては自治案を提出するも畢竟徒勞に終るべしと愛蘭國民黨員ジョン、ディロン氏は曰く最早愛蘭自治案問題の解決は失敗に終れりと最後に首相アスクイス氏は國民黨員が其決議を再考せんことを熱望せるも其動議は議場に透徹せざりき(倫敦電報)

◎丁抹諸島買收成立 發表

米國政府公報に曰く米政府が丁抹領西印度諸島を五百萬弗にて買收せんとする交涉は丁抹國との間に事實上成立したるが右賣買を確認せる米丁間の協約は多分二十五日署名されたる上直ちに上院に廻附せらるべしと(華盛頓電報)

◎勞作強制法案提出

アムステルダム來電に曰く婦人小兒をして農地に出で收穫に從事せしむべき強制法案は二日普魯西亞議會に提出せられたるが若し強制法を拒む者は一箇年の禁錮或は七十五磅の科料に處せらるべしと(華盛頓來電)

◎經濟調查會と朝鮮

工業原料として有望なる半島の農產

總督府技師 中村彥氏談

經濟調查會に關する調查上の要務を帶びて東上中なりし總督府技師中村彥氏は二十六日夜南大門驛着汽車にて歸任したり、談に曰く

▲經濟調查會 は產業、貿易、交通租稅及び金融等の部門に分れ、其れ〳〵必須の問題に就きて目下攻究調查を重ね居れるが、就中產業に在りては日本が工業原料として外國より輸入し來たれる農產物、即ち棉、麻、羊毛をはじめ漆、パルプ等の如き我が領土內に於て僅に之を生產し得るものに在りては出來得る限り之れが增殖に努むること極めて緊要なるを以て其の生產增殖に關し朝鮮は勿論臺灣其他に於ける實狀並に將來の見込等に就きて委員の質問に應答す可く各地より之れが代表者を召集したり、予も亦其の說明者として參加せる次第なるが前記農產物中就朝鮮に於ては

▲棉 は總督府設置以來極力陸地棉の栽培、增殖を獎勵せる結果當初其の耕作反別漸く一千町步に過ぎざりしもの今日にては既に五萬町步を算するに至り、昨秋生產の棉花は內地への移入額二百萬圓を超過するの狀況にして既に斯界に貢獻する處鮮少ならず而かも今後益々增進の傾向あり

▲麻 は大麻、苧麻、苘麻等各種を生產し其の改良に就きては從來相當に意を用ひ效果亦見る可きものあるも、之が作付反別の增加を計るは棉花の如く容易ならざる事情あるを以て遽かに其の生產增加を斷行するは困難なる可し

▲羊 は勸業模範場附屬の洗浦牧場に於て試育中にして未だ一般農家に飼養せしむる程度に至らずと雖も遠からず牧羊豐富なる北方より獎勵を開始す可く[illegible]るを得ば相當の產額を見るなる可し

▲漆 は支那漆の輸入以來內地に於ては頗に衰退せるも朝鮮漆は其の質極めて良好なるが故に主として畦畔、山麓等耕地以外の個所に於て其の栽植を獎勵しつゝあれば之れ亦將來囑目に價す可く

▲パルプ の如きは原料豐富にして既に之が經營に從事せるものあり要之に工業原料として外國より輸入し來れる前記主要品の如きは現在、若くは將來朝鮮に於て優に之を供給し得可く、遇不足相補して以て益々產を增し富を致す事期して俟つを得可し、抑も調查會は各方面に亙れる名士を網羅せしこと勿論なるが朝鮮の農業狀態に就きては知悉せられざる點少からざりしより予の說明は幸にして一堂の傾聽を買ひしと共に總督府の施設に就きては何れも多大の贊同を寄せられたりき

◎鮮米露國輸出

約六萬石價額百萬圓

朝鮮米の露國輸出に就ては京城の有力なる精米業者中に其計畫ある由は既報の如くなるが其後の交涉略纏りたるものゝ如く愈決定を見ば本年九月より向ふ四箇月間に於て精米五十萬封度即ち約五萬七千石價額約百萬圓の取引を浦鹽に於て行ふに定る可しと而して之に要する精米原料は全部東拓より供給する豫定なるものゝ如くなるが尙ほ右の契約締結のため仁川の奧田貞次郎氏は來週末釜山發の連絡列車にて露都に向ひ彼地の農商務省大藏省との間に直接の交涉を試む可しと

◎國境酒精取引

近來京春地方に於ける酒精の取引は頗る活況を呈し爲めに從來十罐乃至二三罐宛の小口輸出ありたるもの頃日に五十罐乃至百罐の大口に進みつゝあるも尙ほ京春市場品拂底を告げ水運の利あるに拘らず速達を要する爲め時に萬事不利なる馬車を以て運送さるゝが如き活況を呈し慶興を通過せるものゝみにても四月より六月まで一萬六百三十六圓の多額を計上し前年同期に比すれば九千五百八十五圓の激增を示せるが慶興以外の地を通過輸出されたるものをも加算すれば約四千罐價格三萬餘圓に達すべき見込みなり而して此等酒精は現在支那商人の手によりて釜山方面より仕入らるゝも再び支那商の手に依りて國境各地點に分配し殊に三度朝鮮人の手に歸し之を一二升入りの小樽に詰替へ露領に密輸出せらるゝものなりと云ふ尙ほ斯く取引盛況なるに作れ價格も一罐一圓餘に奔騰して八圓前後の相場を示せるが之が輸送せられて露支國境を越ゆる時は一罐二十二圓に相當すと

◎米戰一部解合

仁川米穀取引所に於ける七月限受渡し米表高五萬百五十石は二十九日授受の期に迫り期日切迫の爲め諸種の風說を生みたるが二十六日夜南派は旭屋旅館に集會談合の上其の一部を解け合ふ事となり二十六日四千六百五十石を十二圓五十錢にて又四千石を十二圓七十錢にて成立したるが前回に比し[illegible]形勢は益々硬派に有利にして表裏合計高は六萬餘石を剩し居る由

◎全北米作と金融

客月來數度の增水にて農作物の被害は思の外多大の損失を來し北道の米收は不作にも百萬石內外を出でざるべしと豫想され平野部の農民は頗る憂色を帶び從つて人氣も萎縮し商況も尙ほ不振の域を脫せず年來引締りたる金融は更に一段の緊縮を極めつゝあり

◎平南水稻狀況

平南に於ける水稻近況は六月中旬より下旬に渉り植付を終了し其後は成績良好なるが目下一番草除を終り二番草除に移り居るもの多く水調澤にして此後風雨の害なかりせば大豐作疑なしと

◎金海水利損害

慶尙南道金海水利組合の六月に於ける出水被害は出水當時の防水費四千圓並に堤防決潰修理費約四千圓なりと

◎夏繭上蔟好成績

京畿道の夏蠶は既報の如く過般來の降雨にて給桑或は上蔟上多少の懸念を抱き居たるも兩三日來の天候頗に回復し來りたるため何れも共に良好にして二十八九日頃より來月匆々にかけて全部上蔟を見るに至るべしと

□仁川對支那三港の經濟關係(二)

▣仁川對上海關係

(イ)貿易 仁川と上海間の貿易は直接航路なきを以て間接貿易とす、上海貿易は南清貿易と異なり沿革も古く且つ貿易額も頗る大なり

	輸出	輸入	合計
大正四年	一三、八七六圓	二八〇、八五四圓	二九四、七三〇圓
同三年	一〇八、七七三	一、二二三、二四一	一、三三二、〇一四
同二年	三、六〇三	六六四、三六五	六六七、九六八
同元年	四、七三二	七六、六〇八	八一、三四〇

由是觀大正三年に於ける貿易額は著しく例年を凌駕せり、之れ輸出にありては當時仁川港に本據を構へたる英米煙草會社が引上を決行するに際し在留手持品を悉く上海に輸送したるに由りたると、輸入の增加は麻布絹織物其他各種の布帛類の入增によるものにして大正四年に於ける輸入額二十八萬圓は例年に比し著しく減少の振合と云ふべし、是れ輸入大宗品たる麻布が宛も三、四月日支交涉の風雲暗澹として險を告げたるに因り輸入時期遲れ且つ減少したると船腹の關係上此等各布帛類の入減に由りたるものなるは瞭なりとす

▲輸出入品數量及價額(大正四年)

▲輸出品

品名	數量	價額
牛皮	六、五九斤	三、二九八
其他	—	一〇、五七八
合計	—	一三、八七六

▲輸入品

品名	數量	價額
切麻子	一、六九六担	一一、九三〇
支那酒	八〇斤	二八
藥材	—	一六七
支那麻布	一、二一八、〇四〇担	二三四、四六六
絹紬	一、〇一四	五三三
絹紗	九、六四二	四、九七六
絹呉呂	一五、三二二	一四、三八三
絹經子	二、一七四	二、九二三
官紗	二、二三〇	一、七三七
藥賣	九、五六〇斤	六四二
熟皮	五斤	三
其他	—	九、〇六六
合計	—	二八〇、八五四

次に輸出入品を見るに輸出は牛皮の外見るべきなく其額も亦例年二、三萬に過ぎず、輸入にありては麻布を筆頭に綿紬絹縐子其他各種の布帛類及び藥種等にして南清貿易が食料品に限らるゝに反し上海貿易は被服品其大部分を占むる以て兩者間貿易關係の異なるを知悉すべきなり、但し以上敍述したる輸入品は全部生產品の上海積出のみを計上したるものにして此他上海は歐亞百貨集散の世界的大市場にして上海を通過する貨物の數額は別に之を叙べんとす、晒金巾及び晒シーチング、綿繻子イタリヤンス、藥品、鐵類、機械類、萬般の歐洲輸入品の上海を經由して仁川に輸入せられたる額は大正三年八十八萬四千圓大正四年九十萬圓の多きに達す、大正四年に於ける減少は歐亂の影響により船腹不足在荷稀薄等各種の原因に基くものなり、此等通過貿易額と純生產品輸入額とを合算する時は眞に我移出入貿易の勁敵たり而して此等各種輸出入品は大連又は芝罘に於て積替へ入出津するものなり。

(ロ)爲替關係 輸出貿易に於て見るべきもののなき故手形取組は殆ど皆無なり然れども輸入にありては各種布帛其他雜品の入津あるを以て之が決濟として爲替は甚だ巨額に達す、此等輸入諸品の荷受入は大部分支那商にして上海爲替を取扱ふは在仁川香上銀行タウンセンド代理店なり。

(ハ)航路 仁川上海間には直通航路を有せず貨物は全部大連若くは芝罘に於て積替をなす阿波共同汽船會社所有船第十六共同丸は仁川と芝罘大連間を聯航しつゝあるが滿鐵會社の大連上海間の航路と特約接續し多少の補助金を得て關東都督の命令航路なりと云ひ華商の本航路を利用するもの亦少からず。

▣南言北語▣

獨逸のホールウエッヒ宰相も大分強情を張つて居たがとうとう弱音を吐き出した▲斯う國內に擾亂が續いては到底來春迄戰爭には堪へぬ▲又た戰場に於ても案外早く敗け相なとこぼした處は餘程弱つて居るらしい▲一體獨逸は國內の情況が他に漏るを嚴重に取締つて居るから何の樣な事が始まつて居るかも知れぬが▲宰相が弱つた處を見ると何か大した事をやつて居るらしい▲先達は內な國內の士氣を振はす爲めソッと手を廻はして國民煽動をやつて居たが其れも駄目だつたのだらう▲其れから飛行機の樣に飛び廻つて居た獨帝も近頃は蹤ッ張り何の音沙汰もない▲して見ると獨逸も段々影が薄くなりかけて來たかね▲まさか斯う見せかけて置て急に盛り返す策でもなからう▲其れに對して英のチョーヂ陸相は最う大丈夫だ數箇月の間には必ず勝つて見せると豪語して居る▲其れや之れやを見ると何だか歐洲戰も山が見へかけて來た氣もする▲獨逸の相棒の墺國もいよ〳〵せつぱ詰つて糧食大臣を新に作る事になつた▲此の向では獨墺の心中も思ふ通り出來相だから兩國は嘸滿足であらう▲同志會の名物男黒須龍太郎君の黒板塀には『大猫小便すべし』と頗る奇拔な張紙をしてある▲或人が大猫小便御免なら人間は無論お構ひなしだらうねと尋ねると▲黒須君は濟したもので『イヤ公德心のない人間ならば大猫同樣に待遇する譯サ』は黒須式をよく發揮して居る

人事消息

●木村雄次氏(鮮銀理事) 二十七日午後七時五十分南大門驛發東上
●ベルチャー氏、エーゲー氏(米國人) 二十七日夜入京朝鮮ホテルへ

朝鮮總督府技師理學士川崎繁太郎氏著述 京城通信町 記者 田中長作編

朝鮮之金鑛 四六判 クロース 文字 二百五十頁 定價金壹圓

本書は朝鮮總督府が明治四十四年以來三組の調査班を組織し全土の鑛床調査を行ひ是れに依りて得たる材料を基礎とし同府技師理學士川崎繁太郎氏の著述と及其他の材料を蒐集記載し更に三度川崎技師の增補改訂を經たる良書なり、換言せば本書は實に朝鮮總督府が五年の日子と巨費とを以て贏ち得たる結晶體にして朝鮮鑛業界空前の出版物なりとす

本書の內容は其第一編に朝鮮鑛業の沿革、主要の鑛物、鑛物の分類、全土の地質、鑛物の地質的分布、鑛物の地理的分布、鑛床分類、重要鑛物と其脈石其他を記載し其第二編には金鑛床を記し之を別ちて道郡面とし更に於ける主要產地約六拾郡を記載し各產地に就き一々其の地理、沿革、地質、鑛床を詳述せり

仰も本書刊行の目的たるや決して營利的に非ずして編者が之の良書を斯業者に印刷實費にて頒布し以て聊か朝鮮鑛業界に貢獻せんと欲するもくにして本書は普通刊行書の如く卷頭に序文題字を以て虛飾せず又廣告的文字を須ひず眞に科學的良書として世人の認むるものなり

發行所 京城本町一丁目 黃金印刷房
發賣元 京城本町 振替京城二五七三番 電話二〇八六番六八四番 大阪屋號書店

活版 石版 凸版 寫眞版 印刷
各種帳簿類及書籍類製本應需
活字販賣紙型及鉛版鑄造
中田普成社
營業所 京城長谷川町百五番地 電話二〇五番
工場 京城壽松洞四十四番地
中田立三
鮮明にして廉價に且迅速なるは弊社の特色に候御注文の多少に拘はらず御一報次第店員拜趨可仕候

生徒募集 機械 電氣 建築 土木科
中央工學校
尋常小學卒業は一期中學三年修了は二期卒業二期に無試驗入學許可 ○新學期始業九月七日 ○十月にも始業の組有 ○出願八月中 ○規則書入用郵券送れ
東京市神田仲猿樂町五
新案記念編輯 教科書給與

日韓書房 新版報告
總督府鐵道局 朝鮮鐵道旅行案內 定價七十錢 送料八錢
長田幹彥著 情炎 定價六十錢 送料六錢
日本漫遊案內社編 帝國漫遊案內 定價一圓廿錢 送料一八錢
忽滑谷快天著 批評解說 禪學新論 縮刷 定價九十錢 送料八錢
何休庵主人著 參禪實話 定價一圓二十錢 送料十錢
京城本町三丁目 振替 五四四番 電話 一一二七番 二二五五番

ウニフエルチン注射 治療開始 委細は六月廿九日夕刊京城日報雜報欄參照
適應症 呼吸器病胃腸病神經痛及痳疾ロイマチス脚氣腎臟炎遺尿症痔瘻及腺病瘰癧丸炎丹毒關節炎婦人病皮膚病下疳其他諸種の炎症性疾患等
京城吉野町元仲の新地 內科 小兒科 雨森醫院

◎實費診療開始
一診察無料
一藥價實費
一入院隨意
一診察時間晝夜
內科 河野通雄
產婦人科 谷本良一
眼科 雨森佐三
小兒科 牧井文駿
花柳病科 安森ヒ造
外科主任 小田菅サ
皮膚科主任 [illegible]
藥局主任 [illegible]
事務主任 島田菅二
京城黃金町二丁目長橋通り入る角
朝鮮實費診療病院 電話二二五九番

◎損料七千圓 年級を修業せし者が廿五日深川 かめより原告の親代りなる楠本鳳樹 みかは後數箇月を經て漸次原告を誘 月十日書面を以て遂に破約の旨を申 所に到り被告の來るを待受けたるも [illegible]

●外相及大使挨拶 [illegible]

●姦夫姦婦處刑 釜山府牧の [illegible]

●蜀黍で科料 京城吉野町 [illegible]

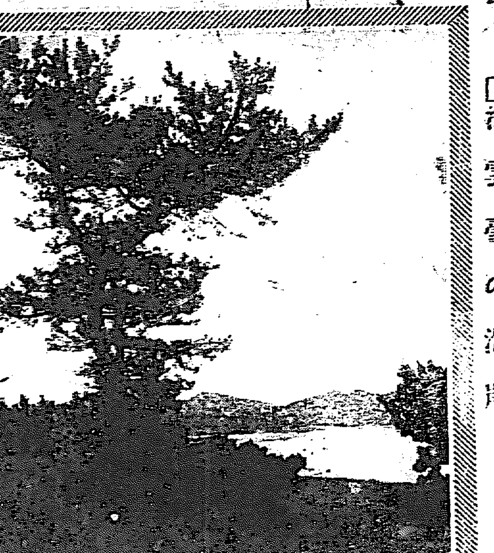
[illegible]とて騷がせたる三宮町三丁目卅一番地[illegible]郷の罪約成立し被告の母松浦おかめ河合龍市方川村おかつは女子師範三[illegible]も是を承諾し一昨年九月十七日母お[illegible]が法律上の[illegible]は式後直ちに履行の約束なりし所被告は如何なる理由か是を爲さゞるの[illegible]未原告の不在中原告の所持品を柚木方へ運搬し其住所に居るを拒み同七[illegible]婚姻手續を履行せよと求め同日原告は河合龍藏、田中喜一郎と同道市役[illegible]受し無形の損害と[illegible]損害賠償を請求するに在りと（大阪）

[illegible]より町重なる訴狀及び大使より訓電を祝賀會委員宛送り來れり

[illegible]方法院に於て[illegible]を懲役四箇月に處せられたり

[illegible]五十錢を申渡さる[illegible]

□海雲臺の海岸



凉一味（八）

◆白砂靑松の海雲臺◆

◇一時忘られた海雲臺は此頃また評判になつて來た。それは釜山鎭の富豪〇〇氏が從來の持主である〇水氏と協商して溫泉經營に着手したからでもあらうが、位置もよく景色もよいといふ事が何よりも有力な理由であらう
◇東萊と共に繁昌すべき[illegible]で、既に白砂靑松の[illegible]形、[illegible]に申分ない
◇釜山から乘合馬車と人力車がある。二時間餘で行けるが汽船で行けば釜山から一時間内外で[illegible]

◇　◇　◇　◇

◉石器時代の古を訪ねて（一）

豆滿江沿岸觀察

窯跡の樣な穴居の跡が總てで九箇所散在中から

八木奘三郎氏談

七月三日京城を出發し四日元山を出港の汽船で七日淸津に著くと電報が來てゐて旅程四週間を三週間に短縮し調査を視察させよと云ふ意味であるから四日の官報を見よと云ふ事だ。白井署長を訪問し其便宜で四日の官報を借りて讀むと古蹟及び遺物保存規則がある是れに據ると

▽全然發掘は　出來ない事になつてる然し視察丈けは出來るし假に發掘された物などで人が所藏してるものを買上げて來る樣な事は出來る譯だと思ひ兎に角淸津を出發する事にした。處が此行の目的とする一番は海岸線から豆滿江の江口に到り河を溯つて會寧に出る豫定であつたが白井署長あたりの話に據れば溯江するのには非常に時日を要するから最初會寧に行つて夫れから江を下つて來た方がいゝと云ふ。けれども此行

▽第一の目的　は海岸の貝塚にある其れを最後に延すと云ふ事は或は時日が許さない樣な事にでもなりはすまいか、其杞憂を脫く爲めに先づ海岸を豆滿江口に到り淸津に引返して更に會寧に向ふ事とした。で富居、新洞、羅津、雄基、西水羅と三十七里を豆滿江口迄行つた。普通行けば四日位で行けるのであるが彼方此方見廻り見廻りして行つたので其間に八日間を費やした。雄基から西浦項に行く途中に赤島と云ふ小島がある李朝の祖先が

▽女眞の鋭鋒　を避くる爲めに一時居た事のある處で碑碣も殘り穴居の跡も遺つてると云ふ事だつたので寄つて見る碑文に據れば十三箇所の穴居跡ありと云ふ事であるが附近で聞いても誰れ一人跡を見たと云ふ者がない其跡を搜索しやうと云ふのである島の南端にある碑碣は直ぐに知れた其碑碣の在る場所は平らかな草原で後方は高くなつて森林がある碑石の所在地から推して其近所に穴居の跡も無ければならぬと

▽山地へ沉く　搜索したが急しても判明しない尋ねあぐんで案内の巡査と共に又碑石の在る草原に歸つて來た或は此草原に、と頻りに草を分けて搜索するうち其叢中に窪地を發見した或は是れが、と尙其窪地をよく〳〵檢するに長さ十尺餘り幅五尺許りの楕圓形の窪地で其形狀燒物などの如く既に埋もれて原の深さなど無論判らないが恐らくは是れが穴居の跡らしいが夫れだとすれば何れ他のものも此附近にあるに相違ないと更に

▽叢中を探索　するうち近所に又一つ發見した今度のは今のに較べると餘程小さくて漸く二坪許りの廣さだし其形も楕圓でなくて圓形だ既に二箇を發見した上は愈々是れが穴居跡に相違ないと勇氣を得て遂に總て九箇所の穴居跡を發見した第一に發見したものゝ他は總て圓形で大きさも略同樣である尙探索すれば近所に碑文の語る如く十三箇所を發見する事が出來たかも知れぬ然し探索は其れ丈けで止る事とした思ふに

▽此穴居跡が　果して碑文の語るが如く李朝の祖先が女眞の難を避けてゐたものか其れとも普通の住民の跡に對して後人が牽强附會して李朝の祖先と結び著けたものか其れは定かならぬが兎に角此附近に穴居の住民のゐたものである事は明かである——其れから西水羅に向つたが遺蹟は殆ど到る所にあり富居には古墳が夥しくある富居に古墳の有る事は營北記などにも書てある

◉僞判事の正體

▽近來稀らしき犯罪　昨年夏頃山口縣厚狹郡厚西村生れ田中秀雄（三）は大阪北區紅梅町山田要次郎外五名と共謀し要次郎等を正服巡査若くは裁判所書記判事等に變裝せしめ己れは僞判事となり東區の百萬長者白山善五郎氏方に乘込み家宅搜索に託して大金を詐取せんとし捕縛されたる事件は豫審にて要次郎等のみ有罪と決し引續き同人等は既に控訴判決迄移へたるに拘らず主謀者秀雄は精神に異狀ありとて尙豫審中なりしが法醫學上より和田岡本兩博士鑑定の結果同人は偏執性痴呆と稱ふ精神病者にして犯罪前より心神喪失者なる事判明し大島豫審判事は未決監在監中の秀雄を放免し直に大阪癲狂院に收容せり近來稀らしき犯罪といふべし（大阪）

◉洋傘から大喧嘩

▽英國婦人と商店員　言語の通ぜぬが因　二十五日午前十一時頃京城本町一丁目雜貨商まからんや事脇田某方店頭にて同家の店員寺坂喜助（二十）と英國婦人との間に言語の不通より論爭を惹起して大騷ぎを演じたり婦人は仁川山手町居住プラント商會の支配人スパーメンデメーリー、クバーンといひ一箇月程前同店にて緋張刺繡入り白色の洋傘一本を代價四圓五十錢に買ひ求め二回許り使用したる際傘骨一本折れ居るを發見し之が修繕の爲めまからんやに赴きたるも言語相通せず、更に携へ來れる洋傘と現金一圓とを出して緋張茶色の洋傘價五圓五十錢のものと取替へ去らんとしたるより前の洋傘は三圓五十錢にて賣り渡したるものなれば現金二圓を添付する樣店員より注意したるに婦人は携へ來れる洋傘の折れる程店員を毆り店員はまた婦人の左手を捻ぢ上げ喧嘩となりたるが兩名共本町署にて取調を受けたり

◉砂中に溺屍體

京畿道抱川郡永中面居士里馬岩川の砂中に十八日午後一時頃朝鮮婦人の溺屍體を發見したるものあり抱川憲兵分遣所より係員出張取調べの結果死者は同郡新北面萬世橋里中伯春妻金姓女（二八）と判明したるが同人は豫て病氣に罹り加療中なるも快癒の見込なきを苦にして遂に精神に異狀を呈し覺悟の投身を企てしものなりと

◉邦人流彈に傷く

帽兒山採金公分局五道溝鑛流作業所にて二十一日午後一時頃馬賊大襲して來り警戒中の巡警と挑戰双方互ひに死傷あり作業中なる日本人山口良吉は流彈を受けて負傷林田某及び支那人一名行衞不明なりとの報あり（大連）

◉詐欺賭博

仁川花町一丁目高禹聖（三五）は幸昌根安益鉉といふ良からぬ者と共謀して花町一丁目朴允化方へ忠淸南道唐津郡牛所里より來仁中の材木商金明玉を連れ込み詐欺賭博にて所持の金錢を捲き上げたる事發見せられ仁川支廳にて懲役一年に處せらる

□蹇脚の名物男

新に瑞西公使館附武官に補せられた佐藤大佐

▲新設の瑞西公使館附武官に新に補せられた歩兵大佐佐藤安之助氏は生粹の江戸ッ兒だが、手も八丁口も八丁と云ふ稀有の才人で實に陸軍部内の名物男だ
▲今や陸軍現役將校數千人の多數を算してゐるが、大佐の如く蹇脚にして而ほよく現役にあり然も其の昇進の速やかな武官は敢て他にないと云ふ事である、何故蹇脚を失くしたかと云ふに、氏は明治二十八年少尉に任官して直ちに日清戰役に出征し、敵彈の爲めに挫かれて切斷したのだ
▲然し大佐は非凡な才子の上に語學は天才以上で支露英佛獨鮮とよく六七箇國に精通し、殊に支那語は最も得意で、日本人中恐らく彼れの如く支那語を巧みに操つる人はあるまいと云ふよ
▲之れが爲め特殊の技能を有する者として蹇脚を失くし乍ら退役を免がれた、陸軍大學には體格の關係から正式に入學が出來ぬので氏は特に請うて科外聽講生たり、而して普通學生以上に智識を吸收した
▲日露戰後久しく現役佐官として關東都督府附武官兼滿鐵奉天公所長囑託たり、年間數萬の交際費を撒しつゝ巧みに奉天當局との間に接衝して諜報勤務に與かり又吾が利權の確保に盡した、此間屢朝鮮を往來して京城にも幾回か立寄つたから知己は仲々多い
▲大正四年山東鐵道部長として靑島に赴任してゐたが、突如今回の發表を見たのである、何しろ瑞西は歐洲の列强の間に圍まれた蕞爾たる小國だが、戰時及び戰後により各國の形勢を察知するには誂へ向きの場所だから、明敏にして又各國語に通せる吾が佐藤大佐の働らき場所としては決して不足はあるまい
▲これは餘談だが、氏に面白い惡戯話しがある、それは氏が旗亭に押上り、蘭燈仄暗き所に淺酌低唱を試みる、若くば今少し突き込んだ或る場合などに、大佐は對手の妓等の氣附かぬ裡に密つそり自己の義足を離しておき、それを見て蓬萊な然し膽玉の小さい雛妓などが氣絶せんばかりに仰天する有樣を見て、心から面白さうに笑ふのだ
▲京城にも此の手で大佐に驚かされた妓が二三にして足らぬ筈である、足は不足だが精力絶倫で磊落不羈好個の壯年武人だ、

◉闇々しい帳場

京城吉野町一丁目居福岡縣三瀦郡江上村生れの宮原良太郎（三）は辻村某より人力車帳場の經營を請負ひ昨年十一月より七月十日頃迄に戶川某外二十一名より受領したる俥代四十一圓を辻村に交付せず悉く橫領消費したるを手初めに擲子に貸付けたる賃料三十八圓餘をも著服し其他車輪一個（五圓）を嚴に賭博する等百圓許りの損害を與へたる爲め告訴せられ良太郎は本町署にて取調べの上檢事局へ送らる

◉書爲

京城櫻井町二丁目居無職崔漢甲（三）は六月二十一日並木町金成浩より荷車一臺（六圓）を賃借しながら之れを返濟せず七月九日に職人等の晝食中を覗ひ北本某の江戸腹一枚を窃取したる外同所備附けの電燈コード線六尺を採つ淺ひ尙數日前新町にて鋏一挺針金一卷を拾得したりと稱し之れを携へて徘徊中を本町署の巡査に捕へらる

◉海中に墜落

忠淸南道唐津郡[illegible]當時仁川敷島町李雲成方同居船大工鄭奉（三）は漢江下流より破損したる舢舨を修理する目的を以て二十四日午後四時過仁川內港鐵橋附近を航行中座礁し激流中に陷ち込み行衞不明となりたるが二十六日屍體となりて猫島海岸に漂著し屍體は型の如く檢視を遂げたり

◉妓生を毆る

仁川龍里育七十番地金斗源（三）は六月二十九日の夜酩酊して龍里妓生[illegible]方に立寄りたるに同女よりて冷しく撥ね付けられたるを憤り同女を毆打し[illegible]たるため仁川支廳にて罰金十圓に處せられたり

◉空家を襲ふ

住所不定の東[illegible]（三）は七月十一日龍山元町二丁目所在江守某の所有空家に忍び込み障子より硝子十一枚（三圓五十錢）を剝き取り之を携へ徘徊中を龍山分隊の憲兵に取押へられ取調べの上檢事局へ送らる

◉[illegible]から爆發

二十四日午[illegible]井町三[illegible]の中より[illegible]を取[illegible]間に入らんとする[illegible]發して[illegible]立上りたる[illegible]物音に[illegible]同室の壁天井等に負傷者なりしたるのみにて幸に[illegible]の原因に就ては目下取調べ中なり

◉牛乳車から

住所不定の金流瑋（三）は二十二日午前四時半頃京城冷洞西尾牛乳店の配達夫遠藤某が太平町二丁目路上に牛乳車を置き他に配達中を見澄まし牛乳二瓶を拔き取り逃亡せんとせる所を遠藤に取押へられ本町署に引き渡されたり

◉線路に大石塊

二十一日午後五時半頃范家屯、大屯間の心開合なる地點に一大塊石が線路上に横はり居るを巡察兵が發見し直ちに附近の數名と協力して大塊石を取り除けしめ長春守備隊警務署に急報したるより將校下士卒數名は二十二日の朝同地に急行し村長一百餘名を召集して取調べつゝあるが獨探が入込り居るにあらずやとの說あり（大連）

◉阿片七千留

去る二十一日午後十時頃長春驛にて二號室に入り咎むべき支那人の携帶品が如何にも怪しげなる出張の憲兵官眼星を附け取調べんと近寄りたるを件の支那人は風を喰つて逃走し群集中に入りて行衞不明となりたるが跡に檢査したる手提鞄及び布包の中に阿片塊六十一個重量四貫八百七十五匁價額六千七百留外に毛皮付敷物、千小魚類等ありたりと（長春）

◉危ない處で

全南順天郡廳書記尹采夏（三）が公金一千圓を橫領逃走中新義州署にて逮捕されたる事は既報の如くなるが同人は去る十八日順天を逃出し木浦に上陸し一泊の上湖南線を經て京城に著きしが首尾好く此の警戒嚴しき京城警戒線を突破し安心し其より平壤に赴き緩々見物して奉天に向はんとするより大いに意を安んじて國境を乘超ゑんとする處を取押へらる木浦署に手配の達したる時は既に犯人の出發後なりしと

◉トロで壓死

釜山府草梁坂の下朴小童（二）は草梁驛構內の人夫なるが去る二十五日午後四時三十分頃トロの組が轉覆し其の下敷となりたる爲め遂に壓死したり

◉平壤二日目勝負

平壤に於ける東京大相撲二日目は朝來快晴にして初日に劣らぬ盛況を極めたり特に本社支局の好相撲幕內五人飛付勝負は非常の人氣にて場內割れん許りの喝采を博し結局宇都宮の勝となれり宇都宮は初日以來全勝にて意氣極めて旺んなり當日の重なる勝負左の如し（平壤特電）

勝　負
兒島洋　綾鶴
大門岩　當の花
駒泉　一港
王鷲　男島
朝日山　成瀬山
▲中入後
龍ヶ崎　逆鉾　四海波　梅川
稻葉嶽　朝緑　宮城山　岩木山
大の川　近江富士　紫雲龍　釋迦嶽
源氏山　小常陸　宇都宮　九州山
栃木山　兩國　對島洋　綾川
大錦　西の海
四海波　▲番外好み　近江富士

—運—動—欄—

▲京電對倭城庭球戰

廿六日午後二時より倭城臺コートに於て京城電氣對倭城俱樂部の庭球試合擧行されたり先つ倭城臺先鋒高橋藤岡組は重政增田組に當りしが倭俱方は惜しき敗をとり續く桐山門川組も又ゼロ敗の見苦しさを見せ結局重政組の勇退を見るに至り倭城俱樂部方は頗る振はず當日副將と恃める松浦大島組も電氣の御大將菊川米田組に仕止められ杉村組又之れに敗れ倭俱方の運命一に懸つて戶賀崎宮川組となりしが此組防戰よく努めて永井吉田組及び松本佐脇組を薙ぎ倒し最後の優勝戰に於て戶賀崎宮川組は重政增田組及び菊川米田組を屠り結局倭城俱樂部の勝に歸したり

讀者文藝（一等には五十錢の記念券を呈す）

△俗謠『夕顏』

主は朝顏日に咲く花よわたしや夕顏月に咲く（一等）　京城光熙町　淺田東海
▲誰の夕顏可愛いゝ月が、咲かせたのやらまんまるに　龍山　岡本小草子
▲誰に見しよとてあの夕顏は星の降る夜に薄化粧　平壤　筏山
▲野良の歸りの與作が唄で開く夕顏籬越し　京城　大島柴流
▲背戸を忍びの夕顏ならば何を乘つて咲くのやら　平壤　樗枝
▲夕を慕ふかあの夕顏の暗にさくのも可愛しや　同　靑人

	締切	發表
川柳題『白』	締切廿七日	發表廿九日
物は付『馬鹿らしいものは』	同廿八日	同卅日
一口噺題隨意	同廿九日	同一日
はめ句	同卅日	同二日
謎題『暑中休暇と掛けて』	同一日	同三日
狂歌『煉瓦』	同二日	同四日
次回俗謠題『旅』	同三日	同五日

■募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一週間後▲種類の異る毎に用紙を別にする事總て一題二句以內の事▲此期間に屆かぬものは沒書

京日案內

普通（一回一行金三十錢…）　番外（匿名一回…）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

●求同志者　希望者至急來談せよ　均等出資損益平分す　●日鮮滿活動寫眞巡業資金　遊園內第二號へ　539
●貸家　南米倉町和田邸前二階建　湯殿付水道共二十二圓眺望佳　黃金町電話二三三六番　旋寫眞舘　540
●日鮮販賣員募集　希望者來談あれ　長谷川町五八　朝鮮一手販賣所　541
●理髮用半椅子テレンプハリ中古貳脚安く賣たし　太陽タキツケ　吉野町一丁目　大島美髮舘　544
▲藥店を讓る　（姓名在社）　543
●有給外交員採用　希望者履歷書携帶來談あれ事業高尙收入確實　京城花園町一二二　中央金物新報朝鮮支社　546
外交員募集　有給にして歩合多大希望者履歷書携帶本人來談あれ　櫻井町一丁目七三　日鮮圖書普及會
●松汀里光州間自働車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す　▲光州自働車行社
●水泳用浮袋賣出　金六十錢　京城府龍山元町二　電話百卅二　振替京城三七二五　東星洋品店　522

番外
製藥見習生採用　身體强健にして勞役に堪へ得る者本人來談あれ　京城岡崎町　朝鮮製藥所
△玄米乳　京城北米倉町　玄米製乳舍　電話一五四七番　龍山直配達　東京化學研究所指定店　542
◉京城春川間自働車　京城春川間每日午前八時出發　貸金片道四圓　南大門通一丁目　廣橋自働車　電話二一九番　648
鮮語科　英語科　新學期三ヶ月修業　甲乙兩共補缺募集　主務　金正潤　南大門通一漢城銀行向、京城靑年會　536
恩給年金退隱料立替　低利最も迅速　何年分でも御相談可仕候　特別御便利に如何樣にも　京城若草町百六番地　西村商會　617
株　有利確實にして　●公債　●株　現物問屋　京城本町二丁目　電話九三九　田中友吉商店　624
●はねつき（うちみ　くじき）等　一切の治療御依賴に應す　明治町　柔術道場　632
▲遊船　當社は輕便なる遊船開始し地曳網投網救命器（水泳用浮袋）をも貸出します　龍山電車終點　（電話五二八番）　共樂社　672

大好評を博せる新式
勢山バイオリン一號形五圓五十錢
鈴木バイオリンはA號三圓より
マンドリン七圓より
樂器特賣店　古色と新との樂器交換
京城本町　勢山樂器店

富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵稅二錢　京城日報社代理部（振替三〇〇番）

新刊書御案內

書名	著者	定價
商店繁榮策	[illegible]	一、八〇
最新效率新商略	秋山紅之助	一、二〇
生きて働く商業書簡文	千早正寬	一、〇〇
商業家の祕訣無駄を省く法	佐々木九平	八〇
最新朝鮮者みやげ世界商業百談	石井研堂	八〇
求むる理想的社員	山本邦之助	八〇
店員修養ポケットブック	[illegible]	四〇
クラーク入門	商業實務研究會	四五
模範小賣店經營法	佐々木十九	八〇
店頭裝飾術	淸水正巳	一、二〇
新式販賣術	井關十二郎	一、五〇
飾窓の飾方	井關十二郎	一、五〇
廣告の仕方	平岡政二	八〇
自由自在廣告法	[illegible]	一、二〇
廣告と販賣	佐々木十九	一、二〇
模範廣告術	同	一、二〇
賣る法買はせる術	[illegible]	七〇
客引策と賣出法	井關十二郎	五〇
第二現代式廣告文句	同	三〇
實用計算法秘傳	[illegible]	五〇
廣告カットと廣告文句	[illegible]	五〇
朝鮮之金鑛	川崎繁太郎	一、〇〇
明石新式相先石立俗解集	[illegible]	五〇
新撰圍棊定石講話	鈴木主殿	一、五〇
日本山水論	小島烏水	一、〇〇
蘭燈情話	[illegible]	八五

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八　振替京城二一三

第六期決算報告

貸借對照表

資産		負債	
未拂込資本金	六五〇、〇〇〇	資本金	壹、〇〇〇、〇〇〇
貸附金	武壹武、七八五	積立金	七九、參〇〇
當座貸越	六六、九壹八	滯貸準備金	壹、五〇〇
割引手形	四〇〇、九五七	諸預金	四六七、九武四
預ケ金	武八、參九參	借入金	壹〇九、〇七〇
雜勘定	九、七七六	他店ヨリ借（武ケ所）	九壹〇
諸證券	六、七四武	前期繰越金	壹、五〇六
他店へ貸（拾ケ所）	參、九九四	當期純益金	壹〇、五九參
營業用地所建物什器	武武、九五〇		
所有不動産	武壹九、〇參六		
金銀	四九、八五〇		
合計	壹、六七〇、八〇四	合計	壹、六七〇、八〇四

利益金勘定

金參萬四千五百九拾九圓武拾壹錢　當期總益金
金武萬四千五圓武拾九錢　當期總損金
差引
金壹萬五百九拾參圓九拾武錢　當期純益金
金千五百[illegible]錢　前期繰越金
合計　金壹萬武千百[illegible]圓參錢
此配當計算左ノ如シ
金六百圓也　法定積立金
金參百六拾圓也　役員賞與金及交際費
金九千六百四拾圓也（年五分五厘）　配當金
金千五百四拾圓參錢也　後期繰越金
右之通リニ候也

大正五年七月
京城府本町二丁目五拾壹番地
株式會社　京城銀行
取締役頭取　中村再造
取締役　山口太兵衞
同　和田常市
同　關繁太郎
同　古城菅堂
支配人　弓場重榮

前記計算書其他總會ニ提出セル書類ノ調査ヲ遂ケ其正確ナル事ヲ保證候也

監査役　古城梅溪
同　梶原末太郎
同　秋吉富太郎

女

（三八）笑つて死ぬ

低い[illegible]素黑い[illegible]を長[illegible]伸して、[illegible]うに[illegible]喉から咽下す[illegible]さに、[illegible]髪が[illegible]へ[illegible]庭[illegible]

[illegible]

い輪廓を漆のやうに見せて、肩にのせた蒼白い半月の光をもつ[illegible]雲に呑ませたり吐かせたりしてゐる璃子の遺骸は、この境、この時にふさはしいものであつた。明るい人の世と暗い冥府の國とに掛渡して、蹤なき翼を打かはすといふ恐ろしの死の使が、今しも彼女の魂をちぎりとるべく、鋭い爪をふりかざしてゐる。爾うだ、正しく死の使である。彼女が嘗て父から貰ひうけた寫眞帖の中に、バリーの或る名優が扮したといふ死の神の寫眞があつた。見ると眞黒な打扮をして手の先に長い爪が生ゐて、彈機仕掛の黒い翼が背に張られてゐた。芝居だからよいや

うしつたやうな夢幻的の恐怖が黑雲の如く渦巻き立つた時に、ふと彼女の勇に言はれたことを憶ひ出した。同時に瞬間での出來事も腦に浮いた。我を呪ふ人の執念深い呪の手は、惡魔のやうな迅さをもつて、今此の機會に飛込んで來たのだと氣がついた。それが聲を立てゝから突仆されるまでの短い間に於る電光のやうな意思のはたらきだつた。

「あゝ、ちよつと待つて下さい。皆んなとゐるッ！」

絕體絕命に迫つた瞬間、抵抗の力を失つた彼女の纖腕は、それでも離

下から男の背の膝をぐつと支ゐて、平常は苦しく喘ぐ呼吸の必死の譫を[illegible]

「何だア」。

男の脊は只一諦、支ゐられた右手の[illegible]に首に冷いて、固く握りつめた目友は音もらりと月明りに進つた。

「わたし、逃げないわ。どうしても貴君に殺される運命を持つてゐるの。ここで殺されて上げますわ。決して手向ひは致しません。貴郎に、あ、笑つて、氣持よく死に[illegible]」

[illegible]

はつもりで[illegible]た目はもう神秘の[illegible]にある死に對しての離縁な覺悟を見せるやうに、金身の力を[illegible]瞳にあつめて、謎く且つ美しく[illegible]に輝いてゐた。男は時々[illegible]つてゐたが、顏をそうな状を見せて

「な、童う、俺も男だ。一言も[illegible]手にお前の命を奪つちやあ一生の名折になるからな、それなんだ。差支のねいとだけをさつさと諦めう。一體俺はお前に何の怨も遺恨もねえんだぞ、いゝか。お前を怨む者は他にあるのだ。それがさうした事情だから[illegible]にもがられねし、又たその人の名は言はれあしねえ。どうせ死ぬお前だから、言つたつて差支ねいやうなものだが、どんなことがあつたつて名を出さねいと、堅い約束をしてゐるんだからね。それを言つたら俺の男が廢るんだ。罪も報も[illegible]は不見不知のお前を仇と睨つてよ――金の犧牲をするのも、實は據所ねえ義理に縛られて、背に腹はかへられねいといつたやうな理窟なんだ。コウ惡く思つてくんな。いゝか、[illegible]はいづれ閻魔さまの前でするからよ」

「分りました」

西洋料理 アイスクリム、ハイカラ丼 お上品な御料理と（[illegible]） カフエータイガー

大田調南吟社第八回俳會句集

- 割氷や婚筵起る裏二階　待宵
- 小網や植ゑよ上る竹醉日　同
- 早起も竹植る日や小雨あり　同
- 懐食せまる彩高居や閑古鳥　西
- 稽苗の忘られながら瓜成りの船　同
- 蝕焼くや潮に居直る旅の船　同
- 水冷めたさ甘さ募りけり　秀
- 朝神事に心澄めり閑古鳥　同
- 瓜賣か瓜を枕の晝寢哉　青
- 絵空は妻の仇花なりし胡瓜哉　同
- 竹植ゑて聖に近き心かな　桃
- 荒畑や茄子貸家札[illegible]　同
- 山荘や白粥に燒く鰻小鯵　同
- 高山の名無し草花や閑古鳥　風
- 草鞋豆の廢に踏つく閑古鳥　同
- 痛み歩く雨に氷又泌り　同
- 冷熱の香に氷や嚙みつのる　同
- 流行唄や後くや小村や瓜熟す　同
- 一夏百題竹植も日や句發心　同
- 鰺の子の小竹立ちけり喉佛　同

宵水骨岸雨骨

◎少年と少女 [illegible]

讀者の談

近東京府內に[illegible]に自稱する商人（[illegible]）[illegible]の婦人を相手に[illegible]るとて手付金を取り又は婦人の金錢を[illegible]飮食店に出入するも[illegible]（[illegible]）△京城の某料理屋では閉切[illegible]て來る者が[illegible]に入れて持つ一昧に二分も少かつたことが氣に[illegible]て今問題になつてゐる商業道德問題として嘆かわしき事である（長屋者）▲夜中京城町內の家は暗いには階日だ是は何處の都合で[illegible]方のないことだが市街道路不の敷設に迫し其の手入を加へることを輸[illegible]（田舍坊）▲南米倉町の裏町の家主は家賃及び其水道料は常に前金にて受取り居るにも係らず水道料不納の爲め借家人は水の供給を止められたり斯かる際には如何なる制裁を必要とするものなりや敢て諸方の借家人同志の御敎示を乞ふ（權利義務者）

▲一杯のアイスクリームに蘇る「一杯の冷しビールに蘇る」此の二句を見るに一杯の……に蘇るといふ前後は全く同じく唯アイスクリームと冷しビールとの差である然もアイスクリームと冷しビールとは同じ飮物であるから燒き直しも甚だしいと思ふ白痴初心者君は敗け惜しみか知らぬが大津繪に糞落し行く燕哉（？）を燒き直してあゆがめに糞落し行く燕哉（？）にしたのだと言てゐられるが決して燒き直しでないと思ふ前者は町の大通りを想像する綺麗な大津繪を道端で賣つてる其の上を燕が通つて糞を落して行つた一つは田舍に網屋がありてあゆがめの上には燕が巢をかけてゐるいつもチーく鳴いて出入してゐるその巢を出る時に糞を落してあゆがめにはいつた事と思ふ子と糞は同じであるが句の想が違ふ規先生は敢て燒き直してゐない初心者に申す（エム生）

◎花柳病 ラーヂオ [illegible]

◎特別 ルーデサック 打半五錢 百十五錢

◎特別上等 ルーデサック

◎特別 子宮サック 七十五錢

◎近東各地に類似ドラッグあり御注意を乞ふ 本月廿日京城日報御覽

京城南大門外停車場通 ドラッグ商會 本部 電話二五六七番 振京城四六七番

トラホーム 其他眼病 諸症に特效あり 效めのある目藥 直治水 [illegible] 本舖 京城府 [illegible]千商會

◎各地に類似ドラッグあり御注意 大阪ドラッグ商會 京城南大門外 ドラッグ

りんびよう 百円 懸賞

麻病梅毒は治癒劑こし梅毒[illegible]學上最有効と確定し東京部九州帝國醫科大學病院等に於て賞揚配劑せられつゝある高貴藥なる事を證する事を保すも若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓呈進●あらゆる治療を講するも効なき患者兎に角一度相談あれ にせ物に注意 大連青島其他到る處隆盛を羨み東京商會の偽物を賣る奸商あり 京城 商會製劑を御購求の諸君は 大阪有田 取扱製可被下候御賣 ◎詳細は本月一日の京城日報御覽

京城本町二丁目 電話二四一番 賛化病院 內科 小兒科 入院隨意 毎日五名を限り無料施療す 醫學博士 古城憲治 醫學士 上野亮藏

○○子爵家よりの御照會と御答

陸軍京橋町永田町○○子爵家から次の様な御照會が桃谷研究試驗部へ到着致しました

拜啓 貴所發賣にかゝる美顏ユーマーなる化粧液は舶來化粧[illegible]○○○○○○○に比し品質[illegible]其に些も遜色無きのみならず[illegible]を廉し專ら美顏ユーマーを使用致居候然る[illegible]に價格に於て○○○○○○○は頗る高價に有之何故舶來品と美顏ユーマーと斯く價格の相違相生じ候や念の爲御伺ひ致度若し貴所に於て高價なる特製品の如きもの有之候はば御一報被下度此段御照會に及び候也

九月二十七日 ○○子爵家家扶

桃谷研究試驗部御中

右の御照會に對する御答の手紙は長くなりますから其意味だけかい摘んで申します

一、舶來品の高價なる理由
（イ）體裁に無用の費用をかけ居る事（ロ）高率なる輸入關稅のかゝる事（ハ）使用者の手に渡るまでに多くの商人の手をくゞる事

一、美顏ユーマーが舶來化粧液に劣らぬ理由
舶來化粧品に優るとも劣らざる自信ある化粧品を製造する事が桃谷研究試驗部の主義にして現に美顏ユーマーの創製に方りても仰せの○○○○○○○は固より其の他あらゆる舶來化粧液を取寄せ分析して比較研究の上創製せるもの故美顏ユーマーは舶來品に讓ること無きわけなり

▲美顏ユーマー愛用の方々の內にも右子爵家御同樣の疑問をお持の方も御座いませうから御参考までに右記して置きます

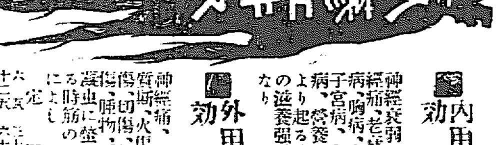
學者の創製したる 新化粧液

美顏ユーマー

朝使へば一日中顏色を活々と美しく保つ 美顏ユーマーを續けて使へば

▲色を白くし日焼を防ぎ
▲キメ細に、ツヤを美くし
▲白粉下や、白粉のトキ水に使へば、白粉に美しいツヤを添へ、ホントウに綺麗なお化粧が出來ます。
▲クツキリと垢ヌケして
▲アレ止めにも此上なく

朝鮮總督府許可



内用精 効能 神經衰弱、神經痛、老衰、痲痺病、子宮病、胸病、痔病、胃腸病、病後發育不良より起る諸病の滋養強壯劑なり

外用精 効能 神經痛、火傷、傷、打物、切傷、腫物、疥癬、寄生蟲に螫れたる時、筋の張等によし

定價 [illegible]

人參直引大販賣所 京城本町一丁目 人參エキス製造發賣元 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五二番

特約店 北島藥房 古城藥房 廣岡藥房 松屋 阿部藥房

寫眞 京城日報社寫眞製版部

大阪商船仁川出帆

○外航船所屬就路（沿岸航路を除く）[illegible]

- ○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行
  - ○須磨丸 八月一日 後五時出
  - ×安東丸 七月 日
  - ×天智丸 八月四日
- 鎭南浦、龍岩浦、安東縣行
  - ○漳州丸 七月 日 後二時出
- ×木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行
  - ○信濃川丸 八月廿七日 後二時出
  - ×信濃川丸 八月九日
- ×南浦、關門、神戸、大阪行
  - ○須磨丸 七月 日 後二時出
- ×鎭南浦、大連行
  - ×信濃川丸 八月廿二日 後二時出
  - ○信濃川丸 八月四日
- 大連直行
  - △日米丸 七月廿八日 正午出帆
  - ×福州丸 八月六日
- ○群山、神戸、大阪行
  - 宮島丸 月 日 後五時出
- ○群山、釜山、横濱行
  - ×福州丸 八月十二日 後二時出
  - △日米丸 八月三日
- ○清津、浦潮行（元山出帆）
  - ▲印 城津、西湖津、清津寄港浦潮不寄港
  - 安平丸 八月七日 後二時出
  - ▲宮島丸 八月十三日
- ○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
  - 湖北丸 八月十二日 後六時出
  - 城津丸 七月卅一日 前四時出

御注意 ○朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との聯絡切符發賣仕候○御乘船客は本船出帆一時間前迄無賃送迎可致候○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話 [illegible] 京城切符發賣所 內國通運會社支店 電話七〇八一番

▲中國四國沿岸各寄港船客に對し當分門司迄の連絡乘船切符發賣仕候

朝鮮郵船仁川出帆

本社 電話長一九五番二ー二三一番 京城支店、出張所、代理店 京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店 電話一七〇番

- 全羅丸 八月十一日
- 京畿丸 七月卅一日
- 黃海丸 八月四日
- 咸鏡丸 八月十四日 門司より釜山各港寄港[illegible] 釜山發
- 穩城丸 八月一日
- 昌平丸 七月三十一日
- 鏡城丸 七月 日 元山より各港經由雄基行 元山發
- 忠清丸 八月十一日
- 平壤丸 八月四日 外津浦[illegible] 元山發
- 永興丸 毎月廿八回 北久味、石里浦行 元山發
- 盈德丸 八月二日 甘浦、九龍里、浦項各港寄港（鬱陵島行） 釜山發
- 江陵丸 毎日 浦項發
- 鎭陽丸 長生浦方魚津寄港
- 三浦丸 七月三十日 長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港 釜山發
- 濟州丸・統營丸 各港經由統水行 毎日 釜山發 巨濟丸・慶寶丸（三日目一回水浦行）
- 順天丸 三日目毎ニ 各港經由麗水より釜山行 木浦發
- 公州丸 七月 日 各港經由 木浦發
- 慶興丸 八月三日 南多島海列島行（月三回） 木浦發
- 慶興丸 七月 日 各港經由濟州島行（東廻） 木浦發
- 宗信丸 八月廿九日 濟州北各港隆浦[illegible] 仁川發
- 江原丸 七月廿八日 海州、大連、芝罘行 仁川發
- 臨水丸 八月一日・晉州丸 八月五日 各港經由木浦行 仁川發
- 錦江丸・南陽丸 毎日午前 江華島、桐鼎島、海州行 仁川發

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
- 君が代丸 七月 日 後四時出帆
- 大有丸 八月一日 後四時出帆
- 神代丸 八月七日 後四時出帆
- 秀吉丸 七月廿八日 後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
- 相模丸 八月六日 正午出帆
- 高砂丸 八月十六日 正午出帆
- 三河丸 七月 日 正午出帆

仁川海岸町 電話十一番 堀回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船

○芝罘、大連行 第十一共同丸 七月廿八日後四時入港 七月三十日前十一時出帆 [illegible]

○城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日後九時出

○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 月 日前八時出

仁川代理店 阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 電話一〇八番 元山代理店 山下回漕部 田口回漕部 京城取次店 南大門 電話二六八・二〇七 河村運送店

汽船釜山出帆廣告

- ○門司、神戸、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆
- ○元山、清津、浦鹽行 立神丸 月 日後十時出帆
- ○門司、神戸、大阪行 小倉丸 月 日後五時出帆
- ○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆
- ○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
- ○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
- 仕須奈、嚴原、芦邊、博多行 ○天真丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大邱浦項間自動車時間

[illegible]

大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番